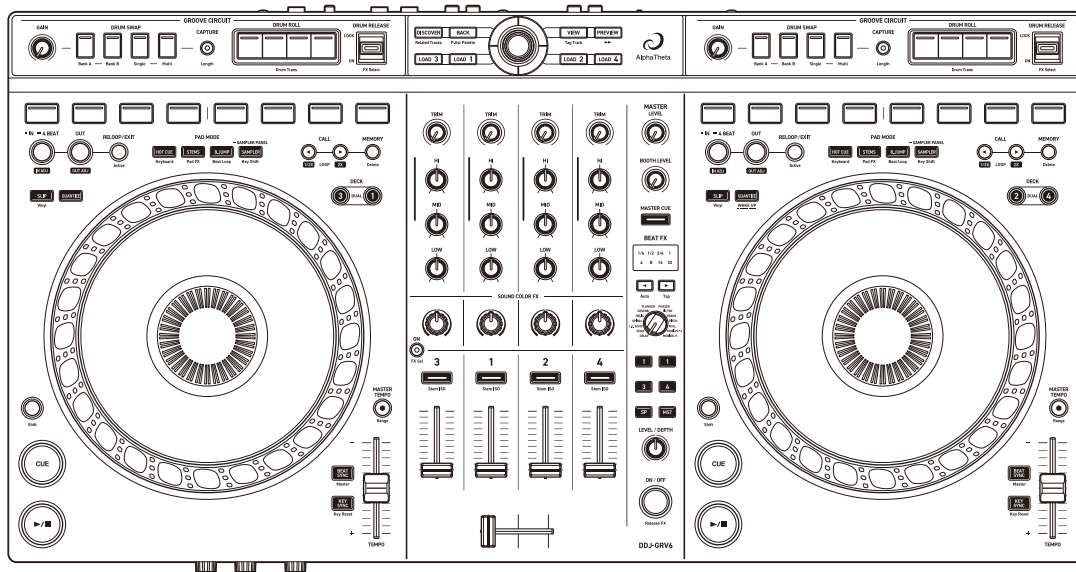


取扱説明書



DJコントローラー

DDJ-GRV6

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox.com

serato.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

本書の見かた

- このたびは、AlphaTheta製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書と本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。

- 本書では、製品本体、PC/Mac画面、およびモバイルデバイス画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[]で囲んで記載しています。

(例：[Files]、[CUE]ボタン)

- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OSのバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

もくじ

本書の見かた	2
はじめに	5
付属品を確認する	5
マニュアルを閲覧する	5
DJ ソフトウェアについて	6
各部の名称とはたらき	9
本体天面部	9
ブラウズ部	10
デッキ部	16
GROOVE CIRCUIT 部	36
ミキサー部	44
エフェクト部	49
本体背面部	55
本体前面部	57
接続する	58
接続例	59
rekordbox for Mac/Windows を使用する	62
rekordbox for Mac/Windows をインストールする	62
操作する（基本編）	66
操作する（応用編）	72
rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する	96
Serato DJ Pro を使用する	98
Serato DJ Pro をインストールする	98
操作する（基本編）	101
操作する（応用編）	108
rekordbox for iOS/Android を使用する	126
rekordbox for iOS/Android をインストールする	126
操作する（基本編）	128
操作する（応用編）	134
rekordbox for iOS/Android で設定を変更する	151
本機の設定を変更する	153
ユーティリティーモードを起動する	153
ユーティリティーモード	154

その他.....	157
故障かな？と思ったら	157
仕様.....	164
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する	166
商標および登録商標について	167
ソフトウェアのライセンス	168
著作権についてのご注意	170

はじめに

付属品を確認する

- USB ケーブル
- 保証書（一部の地域）*1
- クイックスタートガイド
- 使用上のご注意
- オーバーレイシート*2 × 2

*1 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

*2 STEMS FX 機能を使用する際にお使いください。

➡ 「STEMS FX を使う」（115 ページ）

マニュアルを閲覧する

rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「rekordbox イン트로ダクション」は、rekordbox for Mac/Windows のセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordbox for Mac/Windows の操作方法を記載しています。

下記の rekordbox サイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

Serato DJ Pro ソフトウェアマニュアル

下記の Serato DJ サイトをご確認ください。

serato.com/dj/pro/downloads

DJソフトウェアについて

rekordbox for Mac/Windows

- rekordbox for Mac/Windowsは楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJアプリケーションです。
- 本機をrekordbox for Mac/Windowsがインストールされたコンピューターに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能をご利用いただけます。この仕組みをHardware Unlockと呼びます。
- Hardware Unlockの対象機能については、下記rekordboxサイトの【サポート】から【Hardware Unlock】を参照してください。
rekordbox.com
- rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のrekordboxサイトにアクセスして、rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアをダウンロードしてください。
rekordbox.com
- rekordbox for Mac/Windowsの最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記rekordboxサイトの【サポート】から【動作環境】を参照してください。
rekordbox.com
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべてのPC/Macにおける動作を保証するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などの状態によっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノートパソコンをお使いのときは、AC電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングでrekordbox for Mac/Windowsをお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- 対応OSは最新のバージョン、サービスパックをお使いください。

Serato DJ Pro

Serato DJ Pro は、Serato Limited 社製の DJ ソフトウェアです。

Serato DJ Pro ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Pro ソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com/dj/pro/downloads

- Serato DJ Pro の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記サイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/downloads

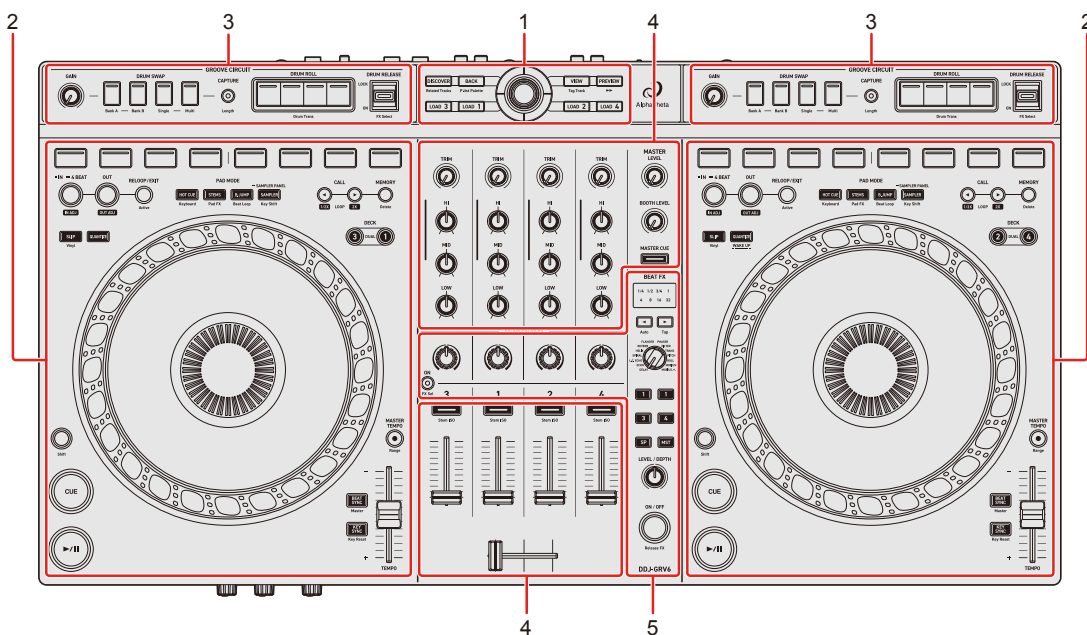
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべての PC/Mac における動作を保証するものではありません。
- PC/Mac の省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型の PC/Mac では、AC 電源を接続するなど、高パフォーマンス設定で Serato DJ Pro を使用してください。

rekordbox for iOS/Android

- rekordbox for iOS/Androidは、楽曲管理とDJパフォーマンスができるモバイルデバイス用のDJアプリケーションです。
- rekordbox for iOS/Androidがインストールされたモバイルデバイスと本機を、USBケーブルで接続することで、モバイルデバイスのトラックやストリーミングサービスのトラックをDJプレイすることができます。
- rekordbox for iOS/Androidは、App StoreまたはGoogle Playで最新版をインストールしてください。(126 ページ)
- rekordbox for iOSはiOS端末およびiPadOS端末に、rekordbox for AndroidはAndroid端末に対応しています。最新の対応OSに関する情報は、下記rekordbox 商品サイトの【モバイル】を参照してください。
rekordbox.com
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべてのモバイルデバイスにおける動作を保証するものではありません。
- 本機の電源にはUSB 電源アダプター（市販品）またはモバイルバッテリー（市販品）を使用してください。

各部の名称とはたらき

本体天面部



1. ブラウズ部

再生するトラックを選択し、各デッキにロードします。

2. デッキ部

4つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ1 およびデッキ3、コントローラー右側にデッキ2およびデッキ4 を操作するノブやボタンがあります。

3. GROOVE CIRCUIT 部または Stem FX 部（オーバーレイシートを使用する場合）

GROOVE CIRCUIT（DRUMS STEMのアレンジ）機能または Stem FX機能をコントロールします。

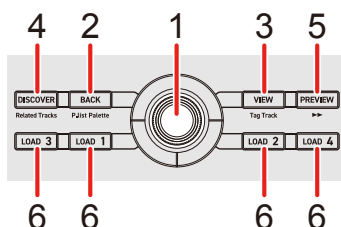
4. ミキサー部

各チャンネルのレベル調整や楽曲ミックスなどをコントロールします。

5. エフェクト部

エフェクトユニットをコントロールします。

ブラウズ部



◆rekordbox for Mac/Windowsを使用する

1. スマートロータリーセクター

回す：

rekordbox 内の選択カーソルが移動します。

[Shift] + 回す：

rekordbox の拡大波形表示を拡大または縮小します。

右回転で拡大、左回転で縮小します。

押す：

カーソルがプレイリストにあるときに押すと、トラックリストにカーソルが移動します。また、カーソルがフォルダーにある場合は、そのフォルダーを開きます。

- プレイリストパレットが表示されている場合は、プレイリストパレット内のプレイリストにある場合もトラックリストにカーソルが移動します。
- ツリービュー、トラックリスト、プレイリストパレットはrekordbox のブラウズエリアにあります。それぞれの役割については、rekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

上下に倒す：

トラックリスト内のカーソルが上下にジャンプします。

各部の名称とはたらき

倒し続けるとジャンプし続けます。

[Shift] + 上下に倒す：

ブラウザエリア内のカーソルが最上端／最下端に移動します。

左右に倒す：

ブラウザエリア内のカーソルが左右に移動します。

倒し続けると移動し続けます。

[Shift] + 左右に倒す：

ブラウザエリア内のカーソルが最左端／最右端に移動します。

2. BACK ボタン

押す：

ボタンを押すたびにツリービューとトラックリストの間でカーソルが移動します。

- プレイリストパレットが表示されている場合は、ツリービューとトラックリストに加えてプレイリスト間もカーソルが移動する対象となります。
- ツリービュー、トラックリスト、プレイリストパレットは、rekordboxのブラウザエリアにあります。それぞれの役割については、rekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

[Shift] + 押す：

プレイリストパレットの表示／非表示を切替えます。

3. VIEW ボタン

押す：

rekordboxのデッキ表示を小さくして、ブラウザエリアを広く表示します。

再度押すと、元の表示状態に戻ります。

[Shift] + 押す：

選択中のトラックを【タグリスト】に登録／削除します。

4. DISCOVER ボタン

押す：

[Track Suggestion]にカーソルが移動します。

- カーソルが[Track Suggestion]内にある場合は、[Track Suggestion]に移動する前の位置に移動します。

[Shift] + 押す：

[メディアブラウザ]の[関連するトラック]にカーソルが移動します。

5. PREVIEW ボタン

押す：

rekordboxのプレビュープレーヤーの再生／停止を行います。

再生中の音声は本機の[ (ヘッドホン)]出力端子から出力されます。

- 音量はrekordboxの[環境設定] > [オーディオ] > [プレビュー音量]で調整できます。

[Shift] + 押す：

プレビュープレーヤーの再生位置が30秒先にジャンプします。

6. LOAD ボタン

押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

2 回押す：

操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。

トラックが再生中の時は同じ位置から再生されます。(インスタントダブルス)

各部の名称とはたらき

◆Serato DJ Pro を使用する

1. スマートロータリーセクター

回す：

ライブラリやcratesパネルのカーソルが上下に移動します。

押す：

cratesパネルやライブラリにカーソルがあるときは、押すたびにcrates パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

上下に倒す：

ライブラリやcratesパネルのカーソルが上下に移動します。

左に倒す：

倒すたびにcratesパネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

右に倒す：

cratesパネルやライブラリにカーソルがあるときは、倒すたびにcrates パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

2. BACK ボタン

押す：

ボタンを押すたびにcratesパネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

3. VIEW ボタン

押す：

画面表示を切替えます。

4. DISCOVER ボタン

押す：

ボタンを押すごとにパネル表示を切替えます。

5. PREVIEW ボタン

押す：

[PREPARE] パネルにトラックをロードします。

6. LOAD ボタン

押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

2 回押す：

操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。

トラックが再生中の時は同じ位置から再生されます。(インスタントダブルス)

◆rekordbox for iOS/Android を使用する

1. スマートロータリーセクター

回す：

rekordbox 内の選択カーソルが移動します。

押す：

下位階層へ移動します。

上下に倒す：

ブラウザ画面内のページをアップ／ダウンします。

[Shift] + 上下に倒す：

ブラウザ画面内の最初の項目／最後の項目に移動します。

左に倒す：

上位階層へ移動します。

各部の名称とはたらき

右に倒す：

下位階層へ移動します。

2. BACK ボタン

押す：

上位階層へ移動します。

3. VIEW ボタン

押す：

rekordbox の画面表示を切替えます。(Waveform/Jog)

4. DISCOVER ボタン

押す：

ブラウザ画面に表示するライブラリを切替えます。

5. PREVIEW ボタン

押す：

rekordbox 画面の BPM パネルの表示を切替えます。

6. LOAD ボタン

押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

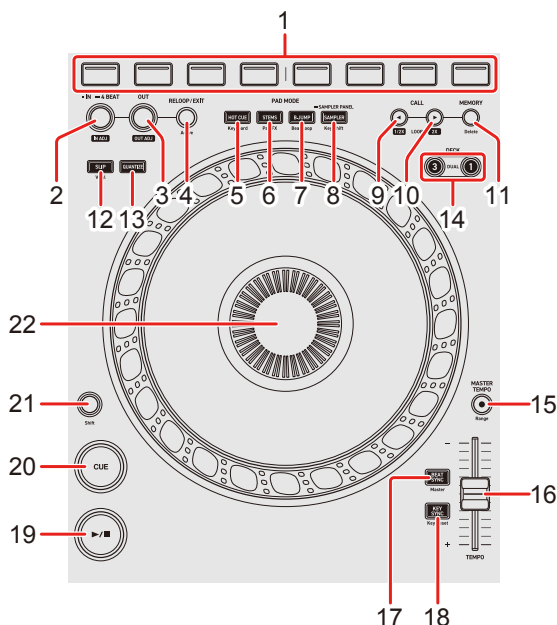
- rekordbox for iOS/Android はデッキ 1 とデッキ 2 のみであるため、デッキ 3 とデッキ 4 の **[LOAD]** ボタンは操作できません。

2 回押す：

操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。

トラックが再生中の時は同じ位置から再生されます。(インスタントダブルス)

デッキ部



◆rekordbox for Mac/Windows を使用する

1. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

🔗 「PERFORMANCE PADS を使う」 (74 ページ)

2. IN ボタン

押す：

ループインポイントが設定されます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループインポイントを微調整することができます。

押し続ける：

4 拍のオートビートループを開始します。

3. OUT ボタン

押す：

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループアウトポイントを微調整することができます。

4. RELOOP/EXIT ボタン

押す：

前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。

ループ再生中に押す：

ループ再生を解除します。

[Shift] + 押す：

トラックに保存されているループのアクティブ状態／非アクティブ状態を切替えます。
(アクティブループ)

- 再生中に**[Shift]** ボタンを押しながらボタンを押すと、そのトラックに保存されているループのうち、再生位置にもっとも近いループがアクティブ状態になります。
- トラックに保存されているループを呼び出したときに、**[Shift]** ボタンを押しながらボタンを押すと、その呼び出されたループがアクティブ状態／非アクティブ状態になります。

5. HOT CUE モードボタン

押す：

HOT CUE モードに設定します。

➡ 「HOT CUE を使う」 (74 ページ)

[Shift] + 押す：

KEYBOARD モードに設定します。

➡ 「KEYBOARD モードを使う」 (80 ページ)

6. STEMS モードボタン

押す：

STEMS モードに設定します。

➡ 「STEMS を使う」 (76 ページ)

[Shift] + 押す：

PAD FX モードに設定します。

➡ 「PAD FX を使う」 (81 ページ)

7. B.JUMP モードボタン

押す：

BEAT JUMP モードに設定します。

➡ 「BEAT JUMP を使う」 (77 ページ)

[Shift] + 押す：

BEAT LOOP モードに設定します。

➡ 「BEAT LOOP を使う」 (82 ページ)

8. SAMPLER モードボタン

押す：

SAMPLER モードに設定します。

➡ 「SAMPLER を使う」 (78 ページ)

押し続ける：

SAMPLER パネルを表示します。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

KEY SHIFT モードに設定します。

☞ 「KEY SHIFT を使う」 (83 ページ)

9. CALL ◀ ボタン

押す：

トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを半分にします。

10. CALL ▶ ボタン

押す：

トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを2倍にします。

11. MEMORY ボタン

押す：

キューポイントやループポイントを保存します。

[Shift] + 押す：

キューポイントやループポイントを削除します。

12. SLIP ボタン

押す：

スリップモードをオン／オフします。

[Shift] + 押す：

VINYL モードをオン／オフします。

13. QUANTIZE ボタン

押す：

クオンタイズ機能をオン/ オフします。

押す（パワーマネジメント オフモード中）：

パワーマネジメント オフモード 状態を解除します。

- 右デッキ側のボタンに限ります。

[Shift] + 押す：

ボタンをタップすることで各デッキのテンポを設定できます。（タップ機能）

14. DECK ボタン

押す：

操作するデッキを切替えます。

[DECK 1] ボタンを押しながら [DECK 3] ボタンを押す、または
[DECK 3] ボタンを押しながら [DECK 1] ボタンを押す：

左デッキの DUAL DECK モードをオンします。

[DECK 2] ボタンを押しながら [DECK 4] ボタンを押す、または
[DECK 4] ボタンを押しながら [DECK 2] ボタンを押す：

右デッキの DUAL DECK モードをオンします。

15. MASTER TEMPO ボタン

押す：

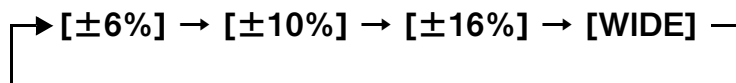
マスターテンポ機能をオン/ オフします。

マスターテンポ機能がオンのとき、[TEMPO] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

[Shift] ボタンを押しながらボタンを押すたびに、**[TEMPO]** スライダーの可変範囲が切り替わります。



16. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

17. BEAT SYNC ボタン

押す：

同期用マスターに設定されているデッキのテンポ（ピッチ）およびビートグリッドに自動で合わせることができます。

ビートシンク中に押す：

ビートシンクを解除します。

[Shift] + 押す：

マスターデッキを設定します。

18. KEY SYNC ボタン

押す：

他のデッキのキーに合わせます。

[Shift] + 押す：

操作デッキで再生中のトラックのキーがオリジナルのキーに戻ります。

19. ▶/■（再生／一時停止）ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

20. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻った後にボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

[Shift] + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

21. Shift ボタン

[Shift] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

22. ジョグ

VINYL モードがオンのときに天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

外周部を回す、または VINYL モードがオフのときに天面を回す：

ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

[Shift] + 天面を回す：

ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

◆Serato DJ Pro を使用する

1. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

➡ 「PERFORMANCE PADS を使う」 (109 ページ)

2. IN ボタン

押す：

ループインポイントが設定されます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループインポイントを微調整することができます。

押し続ける：

4 拍のオートビートループを開始します。

3. OUT ボタン

押す：

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループアウトポイントを微調整することができます。

4. RELOOP/EXIT ボタン

押す：

前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。

ループ再生中に押す：

ループ再生を解除します。

[Shift] + 押す：

ループのアクティブ状態／非アクティブ状態を切替えます。

5. HOT CUE モードボタン

押す：

HOT CUE モードに設定します。

☞ 「HOT CUE を使う」 (109 ページ)

[Shift] + 押す：

PITCH PLAY モードに設定します。

☞ 「PITCH PLAY を使う」 (112 ページ)

6. STEMS モードボタン

押す：

STEMS モードに設定します。

☞ 「STEMS を使う」 (110 ページ)

[Shift] + 押す：

PAD FX モードに設定します。

☞ 「PAD FX を使う」 (113 ページ)

7. B.JUMP モードボタン

押す：

BEAT JUMP モードに設定します。

☞ 「BEAT JUMP を使う」 (110 ページ)

[Shift] + 押す：

AUTO LOOP モードに設定します。

☞ 「AUTO LOOP を使う」 (113 ページ)

8. SAMPLER モードボタン

押す：

SAMPLER モードに設定します。

☞ 「SAMPLER を使う」 (111 ページ)

押し続ける：

[SAMPLER] パネルを表示します。

[Shift] + 押す：

KEY SHIFT モードに設定します。

☞ 「KEY SHIFT を使う」 (114 ページ)

9. CALL ◀ ボタン

押す：

ループスロットを選択します。

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを半分にします。

10. CALL ▶ ボタン

押す：

ループスロットを選択します。

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを2倍にします。

11. MEMORY ボタン

押す：

ループスロットをロックします。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

ループスロットを削除します。

12. SLIP ボタン

押す：

スリップモードをオン／オフします。

[Shift] + 押す：

VINYL モードをオン／オフします。

13. QUANTIZE ボタン

押す：

クオンタイズ機能をオン／オフします。

押す（パワーマネジメント オフモード中）：

パワーマネジメント オフモード 状態を解除します。

- 右デッキ側のボタンに限ります。

[Shift] + 押す：

ボタンをタップすることで各デッキのテンポを設定できます。（タップ機能）

14. DECK ボタン

押す：

操作するデッキを切替えます。

[DECK 1] ボタンを押しながら **[DECK 3]** ボタンを押す、または

[DECK 3] ボタンを押しながら **[DECK 1]** ボタンを押す：

左デッキの DUAL DECK モードをオンします。

各部の名称とはたらき

[DECK 2] ボタンを押しながら [DECK 4] ボタンを押す、または
[DECK 4] ボタンを押しながら [DECK 2] ボタンを押す：

右デッキの DUAL DECK モードをオンします。

15. MASTER TEMPO ボタン

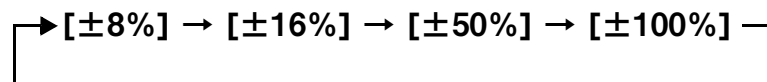
押す：

キーロック機能をオン/オフします。

キーロック機能がオンのとき、[TEMPO] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

[Shift] + 押す：

[Shift] ボタンを押しながらボタンを押すたびに、[TEMPO] スライダーの可変範囲が切り替わります。



16. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

17. BEAT SYNC ボタン

押す：

複数のデッキのテンポ（ピッチ）およびビートグリッドを自動で合わせることができません。

[Shift] + 押す：

SYNC を解除します。

18. KEY SYNC ボタン

キーシンク/キーリセットは Pitch 'n Time DJ の機能です。

- Pitch 'n Time DJ は Serato DJ Pro ライセンスに含まれていません。この機能を使用するには、購入およびアクティベートが必要です。下記サイトを参照してください。
serato.com/dj/pro/expansions/pitchntimedj

各部の名称とはたらき

押す：

他のデッキのキーに合わせます。(キーシンク)

[Shift] + 押す：

操作デッキで再生中のトラックのキーがオリジナルのキーに戻ります。(キーリセット)

19. ►/■ (再生／一時停止) ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

[Shift] + 押す：

テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます。(スタッター)

20. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻った後にボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

[Shift] + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

21. Shift ボタン

[Shift] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

22. ジョグ

VINYL モードがオンのときに天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

各部の名称とはたらき

外周部を回す、またはVINYLモードがオフのときに天面を回す：

ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

[Shift] + 天面を回す：

ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

◆rekordbox for iOS/Android を使用する

1. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

➡「PERFORMANCE PADS を使う」（136 ページ）

2. IN ボタン

押す：

ループインポイントが設定されます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループインポイントを微調整することができます。

押し続ける：

4 拍のオートビートループを開始します。

3. OUT ボタン

押す：

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループアウトポイントを微調整することができます。

4. RELOOP/EXIT ボタン

押す：

前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。

ループ再生中に押す：

ループ再生を解除します。

[Shift] + 押す：

トラックに保存されているループのアクティブ状態／非アクティブ状態を切替えます。
(アクティブループ)

- 再生中に **[Shift]** ボタンを押しながらボタンを押すと、そのトラックに保存されているループのうち、再生位置にもっとも近いループがアクティブ状態になります。
- トラックに保存されているループを呼び出したときに、**[Shift]** ボタンを押しながらボタンを押すと、その呼び出されたループがアクティブ状態／非アクティブ状態になります。

5. HOT CUE モードボタン

押す：

HOT CUE モードに設定します。

☞ 「HOT CUE を使う」 (136 ページ)

[Shift] + 押す：

KEYBOARD モードに設定します。

☞ 「KEYBOARD モードを使う」 (141 ページ)

6. STEMS モードボタン

押す：

PAD FX 1 モードに設定します。

☞ 「PAD FX を使う」 (138 ページ)

[Shift] + 押す：

PAD FX 2モードに設定します。

➡ 「PAD FXを使う」 (138 ページ)

7. B.JUMPモードボタン

押す：

BEAT JUMPモードに設定します。

➡ 「BEAT JUMPを使う」 (139 ページ)

[Shift] + 押す：

BEAT LOOPモードに設定します。

➡ 「BEAT LOOPを使う」 (142 ページ)

8. SAMPLERモードボタン

押す：

SAMPLERモードに設定します。

➡ 「SAMPLERを使う」 (140 ページ)

[Shift] + 押す：

KEY SHIFTモードに設定します。

➡ 「KEY SHIFTを使う」 (143 ページ)

9. CALL ◀ボタン

押す：

トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを半分にします。

10. CALL ► ボタン

押す：

トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを2倍にします。

11. MEMORY ボタン

押す：

キューポイントやループポイントを保存します。

[Shift] + 押す：

キューポイントやループポイントを削除します。

12. SLIP ボタン

押す：

スリップモードをオン／オフします。

[Shift] + 押す：

VINYL モードをオン／オフします。

13. QUANTIZE ボタン

押す：

クオンタイズ機能をオン／オフします。

押す（パワーマネジメント オフモード中）：

パワーマネジメント オフモード 状態を解除します。

- 右デッキ側のボタンに限ります。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

ボタンをタップすることで各デッキのテンポを設定できます。(タップ機能)

14. DECK ボタン

rekordbox for iOS/Android では使用できません。

15. MASTER TEMPO ボタン

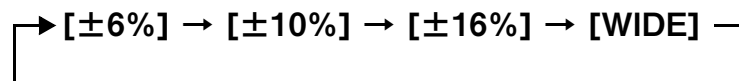
押す：

マスターテンポ機能をオン/オフします。

マスターテンポ機能がオンのとき、**[TEMPO]** スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

[Shift] + 押す：

[Shift] ボタンを押しながらボタンを押すたびに、**[TEMPO]** スライダーの可変範囲が切り替わります。



16. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

17. BEAT SYNC ボタン

押す：

同期用マスターに設定されているデッキのテンポ（ピッチ）およびビートグリッドに自動で合わせることができます。

ビートシンク中に押す：

ビートシンクを解除します。

[Shift] + 押す：

マスターデッキを設定します。

18. KEY SYNC ボタン

押す：

他のデッキのキーに合わせます。

[Shift] + 押す：

操作デッキで再生中のトラックのキーがオリジナルのキーに戻ります。

19. ►/■ (再生／一時停止) ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

20. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻った後にボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

[Shift] + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

21. Shift ボタン

[Shift] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

22. ジョグ

VINYL モードがオンのときに天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

外周部を回す、または VINYL モードがオフのときに天面を回す：

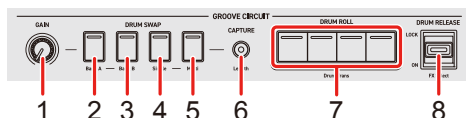
ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 天面を回す：

ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

GROOVE CIRCUIT 部



◆rekordbox for Mac/Windows を使用する

1. GAIN ノブ

回す：

DRUM SWAP 1-4 全体の音量を調整します。

2. DRUM SWAP 1 ボタン

押す：

[DRUM SWAP 1] ボタンに登録されているドラムループ音源を再生／停止します。

DRUM CAPTURE がオンのときに押す：

[CAPTURE] ボタンで切り出すドラムループ音源を [DRUM SWAP 1] ボタンに登録します。

[Shift] + 押す：

ドラムループ音源のバンクを DRUM LOOP BANK A に切替えます。

3. DRUM SWAP 2 ボタン

押す：

[DRUM SWAP 2] ボタンに登録されているドラムループ音源を再生／停止します。

DRUM CAPTURE がオンのときに押す：

[CAPTURE] ボタンで切り出すドラムループ音源を [DRUM SWAP 2] ボタンに登録します。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

ドラムループ音源のバンクを DRUM LOOP BANK B に切替えます。

4. DRUM SWAP 3 ボタン

押す：

[DRUM SWAP 3] ボタンに登録されているドラムループ音源を再生／停止します。

DRUM CAPTURE がオンのときに押す：

[CAPTURE] ボタンで切り出すドラムループ音源を **[DRUM SWAP 3]** ボタンに登録します。

[Shift] + 押す：

ドラムループ音源の再生モードを DRUM SWAP SINGLE MODE に切替えます。

5. DRUM SWAP 4 ボタン

押す：

[DRUM SWAP 4] ボタンに登録されているドラムループ音源を再生／停止します。

DRUM CAPTURE がオンのときに押す：

[CAPTURE] ボタンで切り出すドラムループ音源を **[DRUM SWAP 4]** ボタンに登録します。

[Shift] + 押す：

ドラムループ音源の再生モードを DRUM SWAP MULTI MODE に切替えます。

6. CAPTURE ボタン

押す：

操作デッキの DRUMS STEM の音声を、ボタンを押した位置から指定された拍数分範囲選択します。

DRUM CAPTURE がオンのときに **[DRUM SWAP]** ボタンを押すと、範囲選択された DRUMS STEM 音声ロードされます。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

操作するたび、キャプチャする範囲を切替えます。

7. DRUM ROLL ボタン

押し続ける：

押している間だけ、ドラムループ音源やDRUMS STEMにROLLをかけます。

[Shift] + 押し続ける：

押している間だけ、ドラムループ音源やDRUMS STEMにTRANSをかけます。

8. DRUM RELEASE レバー

手前または奥に倒す：

倒している間、ドラムループ音源やDRUMS STEMにDRUM RELEASE FXをかけます。

センター位置に戻すと解除します。

[Shift] + 手前に倒す：

操作する度に、DRUM RELEASE FXの種類を切替えます。

◆ Serato DJ Pro を使用する

- 本機を Serato DJ Pro と組み合わせて使用する場合、Stem FX 機能のみ使用できます。本機を Serato DJ Pro で使用する場合は、付属のオーバーレイシートを使用してください。

1. LEVEL/DEPTH ノブ (GAIN ノブ)

回す：

[FX (DRUM RELEASE)]レバーでコントロールする Stem 用エフェクト (Echo Out, Roll Out, Braker, Delay) の Level/Depth を調整します。

2. VOCAL ボタン (DRUM SWAP1 ボタン)

押す：

Stem FX の Vocal Stem をオンにします。オフにすると、Stem FX の Vocal Stem が解除されます。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

[FX (DRUM RELEASE)]レバーのFXでEcho Outを選択します。

3. MELODY ボタン (DRUM SWAP2 ボタン)

押す：

Stem FXのMelody Stemをオンにします。オフにすると、Stem FXのMelody Stemが解除されます。

[Shift] + 押す：

[FX (DRUM RELEASE)]レバーのFXでRoll Outを選択します。

4. BASS ボタン (DRUM SWAP3 ボタン)

押す：

Stem FXのBass Stemをオンにします。オフにすると、Stem FXのBass Stemが解除されます。

[Shift] + 押す：

[FX (DRUM RELEASE)]レバーのFXでBrakerを選択します。

5. DRUMS ボタン (DRUM SWAP4 ボタン)

押す：

Stem FXのDrum Stemをオンにします。オフにすると、Stem FXのDrum Stemが解除されます。

[Shift] + 押す：

[FX (DRUM RELEASE)]レバーのFXでDelayを選択します。

6. 1/2BEAT ボタン (CAPTURE ボタン)

押す：

オンにすると[FX (DRUM RELEASE)]レバーで選択されている Stemのエフェクト (Echo Out、Roll Out、Braker、Delay) の拍が1/2拍になります。

オフにすると[FX (DRUM RELEASE)]レバーで選択されている Stemのエフェクト (Echo Out、Roll Out、Braker、Delay) の拍が1拍 になります。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

[STEMS ROLL (DRUM ROLL)] ボタンのラッチ機能をオンにします。もう一度 [Shift] を押しながら [1/2 BEAT (CAPTURE)] ボタンで切り替えると、[STEMS ROLL (DRUM ROLL)] ボタンのラッチ機能がオフになります。ラッチ機能により、[STEMS ROLL (DRUM ROLL)] ボタンから手を放しても、選択した Stem に FX がかけられます。

7. STEMS ROLL ボタン (DRUM ROLL ボタン)

押す：

選択した Stem に 1/8 拍、1/4 拍、1/2 拍、1 拍の Roll がかけられます。

[Shift] + 押す：

選択した Stem に 1/8 拍、1/4 拍、1/2 拍、1 拍の Trans がかけられます。

ラッチ機能がオフの場合、選択した Stem にエフェクトをかけるには、[STEMS ROLL (DRUM ROLL)] ボタンを押したままにする必要があります。ラッチ機能がオンの場合、Roll エフェクトをかけるためにボタンを押し続ける必要はありません。

8. FX レバー (DRUM RELEASE レバー)

手前に倒す：

選択した Stem にアサインされたエフェクト (Echo Out、Roll Out、Braker、Delay のいずれか) がかけられます。

奥に倒す：

選択した Stem にアサインされたエフェクト (Echo Out、Roll Out、Braker、Delay のいずれか) がかけられ、ロックされます。

[FX (DRUM RELEASE)] レバーがセンター位置の場合、[FX (DRUM RELEASE)] レバーに割り当てられたエフェクトはオフになります。

- [LEVEL/DEPTH (GAIN)] ノブが 0 の位置 (左回しきり) にある場合、[FX (DRUM RELEASE)] レバーにアサインされたエフェクトは聴こえません。

◆rekordbox for iOS/Androidを使用する

1. GAIN ノブ

回す：

サンプラーの音声レベルを調整します。

2. DRUM SWAP 1 ボタン

押す：

左デッキではサンプラースロット1、右デッキではサンプラースロット9の再生を開始します。

[CAPTURE] ボタンでサンプラースロットの対象を変更しているときは、左デッキではサンプラースロット5、右デッキでサンプラーはスロット13が再生されます。

[Shift] + 押す：

再生中のサンプラースロットを停止します。

3. DRUM SWAP 2 ボタン

押す：

左デッキではサンプラースロット2、右デッキではサンプラースロット10の再生を開始します。

[CAPTURE] ボタンでサンプラースロットの対象を変更しているときは、左デッキではサンプラースロット6、右デッキでサンプラーはスロット14が再生されます。

[Shift] + 押す：

再生中のサンプラースロットを停止します。

4. DRUM SWAP 3 ボタン

押す：

左デッキではサンプラースロット3、右デッキではサンプラースロット11の再生を開始します。

[CAPTURE] ボタンでサンプラースロットの対象を変更しているときは、左デッキではサンプラースロット7、右デッキでサンプラーはスロット15が再生されます。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

再生中のサンプルスロットを停止します。

5. DRUM SWAP 4ボタン

押す：

左デッキではサンプルスロット4、右デッキではサンプルスロット12の再生を開始します。

[CAPTURE]ボタンでサンプルスロットの対象を変更しているときは、左デッキではサンプルスロット8、右デッキでサンプラーはスロット16が再生されます。

[Shift] + 押す：

再生中のサンプルスロットを停止します。

6. CAPTURE ボタン

押す：

[DRUM SWAP]ボタンで操作するサンプルスロットを切替えます。

左デッキではスロット1～4とスロット5～8を切替え、右デッキではスロット9～12とスロット13～16を切替えます。

7. DRUM ROLL ボタン

押し続ける：

押している間だけ、操作デッキの音声にROLLのエフェクトをかけます。

[Shift] + 押し続ける：

押している間だけ、操作デッキの音声にTRANSのエフェクトをかけます。

8. DRUM RELEASE レバー

手前または奥に倒す：

倒している間、操作デッキの音声にVinyl Brakeのエフェクトをかけます。

センター位置に戻すと解除します。

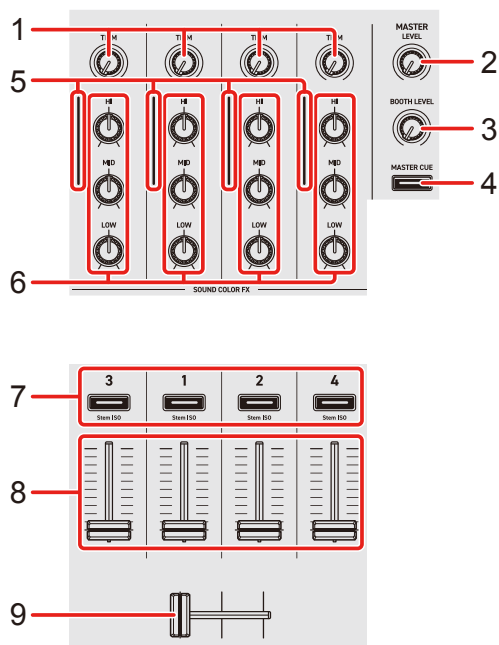
各部の名称とはたらき

[Shift] + 手前または奥に倒す：

倒している間、操作デッキの音声に Release Echo のエフェクトをかけます。

センター位置に戻すと解除します。

ミキサー部



◆rekordbox for Mac/Windowsを使用する

1. TRIM ノブ

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

2. MASTER LEVEL ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

3. BOOTH LEVEL ノブ

ブース出力の音声レベルを調整します。

4. MASTER CUE ボタン

押す：

マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

5. チャンネルレベルインジケータ

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

6. EQ (HI、MID、LOW) ノブ

EQ モード時は各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

STEM ISO モード時は、EQ **[HI、MID、LOW]** ノブで各STEMの音量を調整します。

EQ **[HI]** ノブでVOCAL STEM、EQ **[MID]** ノブでINST STEM、EQ **[LOW]** ノブでDRUMS STEMの音量を調整します。

- rekordboxの**[環境設定] > [拡張] > [STEMS]**内の**[レイアウト]**で調整するSTEMを入れ替えることができます。

☞モードの切替えについては「7. ヘッドホンCUE ボタン (CH)」を参照してください。

7. ヘッドホンCUE ボタン (CH)

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

[Shift] + 押す：

各チャンネルのEQノブの動作のモード(EQモード/STEM ISOモード)を切替えます。

☞「6. EQ (HI、MID、LOW) ノブ」

8. チャンネルフェーダー

スライドする：

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[Shift] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

9. クロスフェーダー

スライドする：

クロスフェーダーカーブ設定に従って、左右に割り当てられたチャンネルの音声を出力します。

[Shift] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

各部の名称とはたらき

◆Serato DJ Proを使用する

1. TRIM ノブ

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

2. MASTER LEVEL ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

3. BOOTH LEVEL ノブ

ブース出力の音声レベルを調整します。

4. MASTER CUE ボタン

押す：

マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

5. チャンネルレベルインジケーター

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

6. EQ (HI、MID、LOW) ノブ

EQモード時は各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

Stems Level モード時は、EQ [HI、MID、LOW] ノブで各Stemの音量を調整します。

EQ [HI] ノブでVocal Stem、EQ [MID] ノブでBassおよびMelody Stem、EQ [LOW] ノブでDrums Stemを調整します。

☞ 「モードの切替えについては「7. ヘッドホンCUE ボタン (CH)」を参照してください。

7. ヘッドホンCUE ボタン (CH)

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

[Shift] + 押す：

各チャンネルのEQ ノブの動作のモード(EQ モード/Stems Level モード)を切替えます。

☞ 「6. EQ (HI、MID、LOW) ノブ」

8. チャンネルフェーダー

スライドする：

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[Shift] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

9. クロスフェーダー

スライドする：

クロスフェーダーカーブ設定に従って、左右に割り当てられたチャンネルの音声を出力します。

[Shift] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

◆rekordbox for iOS/Androidを使用する

- rekordbox for iOS/Androidはチャンネル1とチャンネル2の操作子のみ使用できます。チャンネル3とチャンネル4の操作子は使用できません。

1. TRIM ノブ

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

2. MASTER LEVEL ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

3. BOOTH LEVEL ノブ

ブース出力の音声レベルを調整します。

4. MASTER CUE ボタン

押す：

マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

5. チャンネルレベルインジケーター

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

各部の名称とはたらき

6. EQ (HI、MID、LOW) ノブ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

7. ヘッドホンCUE ボタン (CH)

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

8. チャンネルフェーダー

スライドする：

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[Shift] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

9. クロスフェーダー

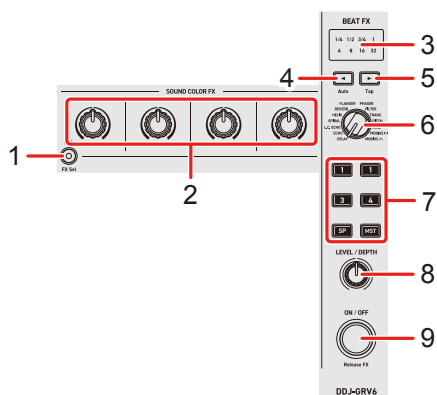
スライドする：

クロスフェーダーカーブ設定に従って、左右に割り当てられたチャンネルの音声を出力します。

[Shift] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

エフェクト部



◆rekordbox for Mac/Windowsを使用する

1. SOUND COLOR FX ON/OFF ボタン

押す：

SOUND COLOR FX をオン／オフします。

[Shift] + 押す：

押すたびにSOUND COLOR FXの種類が切替わります。

2. SOUND COLOR FX ノブ

[SOUND COLOR FX ON/OFF] ボタンがオフのとき：

常に原音が出力されます。

[SOUND COLOR FX ON/OFF] ボタンがオンのとき：

各チャンネルに対して、SOUND COLOR FX をかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

3. BEAT FX ビートインジケーター

選んでいる拍数の位置に合わせて点灯します。

範囲外の拍が選択されたときは点滅します。

4. BEAT ◀ ボタン

押す：

ボタンを押すたびにBEAT FXのエフェクト音を同期させる拍数が小さくなります。

[Shift] + 押す：

BEAT FXのテンポモードをBPMオートモードにします。トラックのBPM値がBEAT FXのテンポの基準となります。

5. BEAT ▶ ボタン

押す：

ボタンを押すたびにBEAT FXのエフェクト音を同期させる拍数が大きくなります。

[Shift] + 押す：

BEAT FXのテンポモードをBPMタップモードにします。BEAT FXの基準となるBPM値を、ボタンをタップした間隔から算出します。

6. BEAT FX SELECT ノブ

BEAT FXのエフェクトの種類を切替えます。

7. BEAT FX CH SELECT ボタン

押す：

BEAT FXを加えるチャンネルを切替えます。

8. BEAT FX LEVEL/DEPTH ノブ

BEAT FXの量的パラメーターを調整します。

9. BEAT FX ON/OFF ボタン

押す：

BEAT FXをオン／オフします。

[Shift] + 押す：

リリースFX をオンします。

◆Serato DJ Proを使用する

1. SOUND COLOR FX ON/OFF ボタン

押す：

選択したチャンネルのエフェクトをオン／オフします。

[Shift] + 押す：

[SOUND COLOR FX] ノブにアサインされたチャンネルエフェクト（FILTER、DUB ECHO、REVERB、NOISE）を変更します。

2. SOUND COLOR FX ノブ

[SOUND COLOR FX ON/OFF] ボタンがオフのとき：

常に原音が出力されます。

[SOUND COLOR FX ON/OFF] ボタンがオンのとき：

各チャンネルに選択したチャンネルエフェクトをかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

3. BEAT FX ビートインジケーター

選んでいる拍数の位置に合わせて点灯します。

範囲外の拍が選択されたときは点滅します。

4. BEAT ◀ ボタン

押す：

ボタンを押すたびに、エフェクト音を同期させる拍数が小さくなります。

[Shift] + 押す：

エフェクトのテンポモードをBPM オートモードにします。トラックのBPM 値がエフェクトのテンポの基準となります。

5. BEAT ▶ ボタン

押す：

ボタンを押すたびにエフェクト音を同期させる拍数が大きくなります。

各部の名称とはたらき

[Shift] + 押す：

エフェクトのテンポモードをBPM タップモードにします。エフェクトの基準となるBPM値を、ボタンをタップした間隔から算出します。

6. BEAT FX SELECT ノブ

エフェクトの種類を切替えます。

7. BEAT FX CH SELECT ボタン

押す：

エフェクトを加えるチャンネルを切替えます。

8. BEAT FX LEVEL/DEPTH ノブ

エフェクトの量的パラメーターを調整します。

9. BEAT FX ON/OFF ボタン

押す：

エフェクトをオン／オフします。

◆rekordbox for iOS/Android を使用する

1. SOUND COLOR FX ON/OFF ボタン

押す：

SOUND COLOR FX をオン／オフします。

[Shift] + 押す：

押すたびにSOUND COLOR FXの種類が切替わります。

2. SOUND COLOR FX ノブ

[SOUND COLOR FX ON/OFF] ボタンがオフのとき：

常に原音が出力されます。

[SOUND COLOR FX ON/OFF] ボタンがオンのとき：

各チャンネルに対して、SOUND COLOR FX をかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

3. BEAT FX ビートインジケーター

選んでいる拍数の位置に合わせて点灯します。

範囲外の拍が選択されたときは点滅します。

4. BEAT ◀ ボタン

押す：

ボタンを押すたびに、BEAT FXのエフェクト音を同期させる拍数が小さくなります。

[Shift]+押す：

BEAT FXのテンポモードをBPMオートモードにします。トラックのBPM値がBEAT FXのテンポの基準となります。

5. BEAT ▶ ボタン

押す：

ボタンを押すたびに、BEAT FXのエフェクト音を同期させる拍数が大きくなります。

[Shift]+押す：

BEAT FXのテンポモードをBPMタップモードにします。BEAT FXの基準となるBPM値を、ボタンをタップした間隔から算出します。

6. BEAT FX SELECT ノブ

BEAT FXのエフェクトの種類を切替えます。

7. BEAT FX CH SELECT ボタン

押す：

BEAT FXを加えるチャンネルを切替えます。選択したチャンネルのボタンが点灯します。

- チャンネルの3と4とSPについては、対応していないため選択できません。

8. BEAT FX LEVEL/DEPTH ノブ

BEAT FXの量的パラメーターを調整します。

9. BEAT FX ON/OFF ボタン

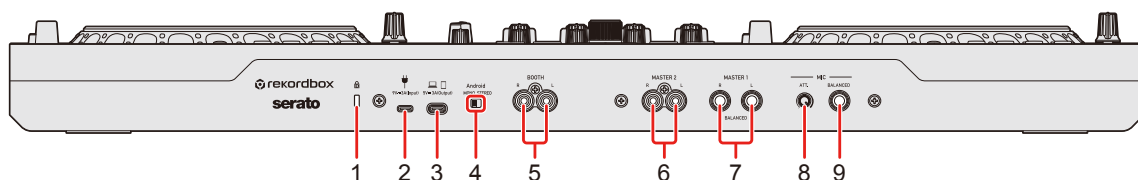
押す：

BEAT FX をオン／オフします。

[Shift] + 押す：

リリースFX をオンします。

本体背面部



1. ケンジントンロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着するための穴です。

2. USB端子（電源専用）

USB電源アダプター（市販品）またはモバイルバッテリー（市販品）と接続します。

- USB Power Delivery に対応した製品を使用してください。
- USB Type-C ケーブルで接続してください。
- 接続に必要なケーブルは、USB 認証品を使用してください。
- USB ハブは使えません。

3. USB端子（デバイス接続用）

PC/Mac/iOS/Android機器と接続します。

- 接続するUSBケーブルは、必ず下記のケーブルを使用してください。
 - USB Type-C 端子を持つ機器との接続：本製品に付属のケーブル
 - USB Type-A 端子を持つ機器との接続：長さ3 m以下のUSB認証品ケーブル
 - Lightning端子を持つ機器との接続：長さ3 m以下のApple認証品ケーブル
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。すべてのUSBハブの動作を保証するものではありません。

4. Android MONO/STEREO スイッチ

Android端末接続時、音声の出力方式を変更します。

- 本スイッチでステレオ出力に切り替えた後、出力音声が正常にならない場合があります。その際はモノラル出力を選択してください。
- [MONO]スイッチ選択：モノラル出力になります。（初期設定）
- [STEREO]スイッチ選択：ステレオ出力になります。

各部の名称とはたらき

5. BOOTH出力端子（RCA ピンジャック）

ブースモニター用の出力端子です。

- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

6. MASTER 2 出力端子（RCA ピンジャック）

パワードスピーカーやパワーアンプなどを接続します。

- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

7. MASTER 1 出力端子（1/4” / 6.35 mm、TRS）

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

- 必ずバランス出力として接続してください。アンバランス入力へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

8. MIC ATT.（アッテネーター）ノブ

[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整します。

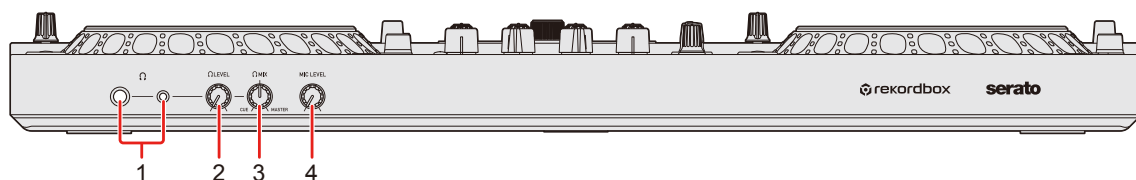
- マイク本体に入力される音声の増幅量（ゲイン）は、お使いになるマイクによって大きく異なります。本体背面の [MIC ATT.] ノブは、DJ プレイ前にお使いのマイクに合わせて音声レベルを調整するときに使います。DJ プレイ中は、本体前面の [MIC LEVEL] ノブを使ってマイクの音量を調節します。

9. MIC入力端子（1/4” / 6.35 mm、TRS）

マイクを接続します。

- フォーンプラグ（1/4” / 6.35 mm）のみに対応しています。

本体前面部



1. Ω(ヘッドホン) 出力端子

ヘッドホンを接続します。

1/4" ステレオジャックと3.5 mm ステレオミニジャックに対応しています。

- インピーダンスが32 Ω以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが32 Ωより小さいヘッドホンには対応していません。

2. Ω(ヘッドホン) LEVEL ノブ

ヘッドホン出力の音声レベルを調整します。

3. Ω(ヘッドホン) MIX ノブ

ヘッドホン[CUE]ボタンが押してあるチャンネルの音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

4. MIC LEVEL ノブ

[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整します。

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、USB ケーブルを抜いてから行ってください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- PC/Mac およびモバイルデバイスと接続する USB ケーブルは、必ず下記のケーブルを使用してください。
 - USB Type-C 端子を持つ機器との接続：本製品に付属のケーブル
 - USB Type-A 端子を持つ機器との接続：長さ 3 m 以下の USB 認証品ケーブル
 - Lightning 端子を持つ機器との接続：長さ 3 m 以下の Apple 認証品ケーブル
- USB ハブを使用する場合は、お使いの PC/Mac のメーカー推奨製品をご利用ください。すべての USB ハブの動作を保証するものではありません。
- USB Type-C 端子の PC/Mac と組み合わせて使用する場合、USB ケーブルで本機と接続するだけで使用できます (USB バスパワー)。ただし、以下のような場合に、USB バスパワーで動作しないことがあります。
 - PC/Mac 本体の USB 端子の電源供給能力が不足している。
 - PC/Mac に他の USB 機器を接続している。
 - インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンを接続している。
 - **【 (ヘッドホン)】**出力端子にモノラルプラグを接続している。
- USB Type-A 端子の PC/Mac と組み合わせて使用する場合、本機の USB 端子 (電源接続用) に電源アダプターまたはモバイルバッテリーを接続する必要があります。
- モバイルデバイスと組み合わせて使用する場合、電源として、USB 電源アダプターまたはモバイルバッテリーを使用することができます。
- USB 端子 (電源専用) に USB 電源アダプターやモバイルバッテリーを接続する場合、最大電圧 24V 以下、かつ DC 9V 3A に対応したものを使用してください。
接続に必要なケーブルは、USB 認証品を使用してください。
モバイルバッテリーは、省電力機能のないものをお使いください。
- マイクを使わないときは、**【MIC LEVEL】**ノブで音量を最小にしてください。

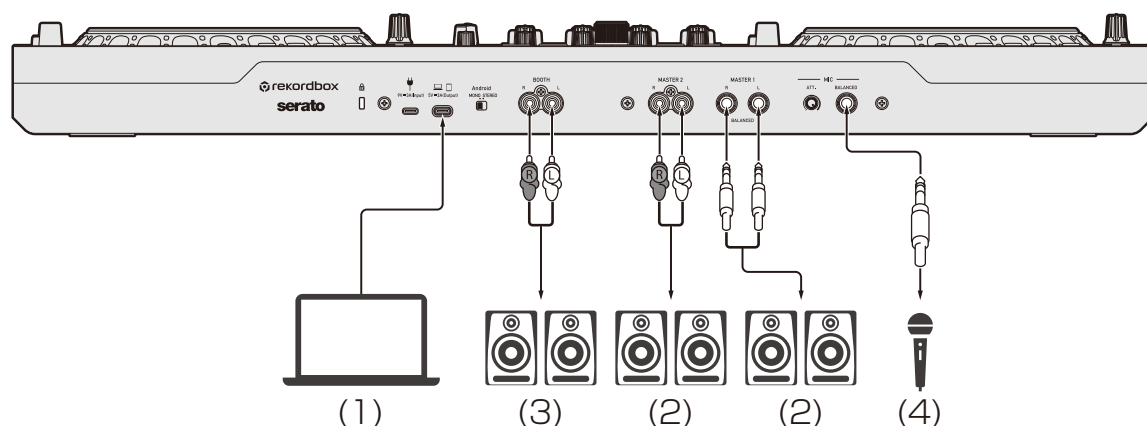
接続例

入出力端子に接続する

本体背面部

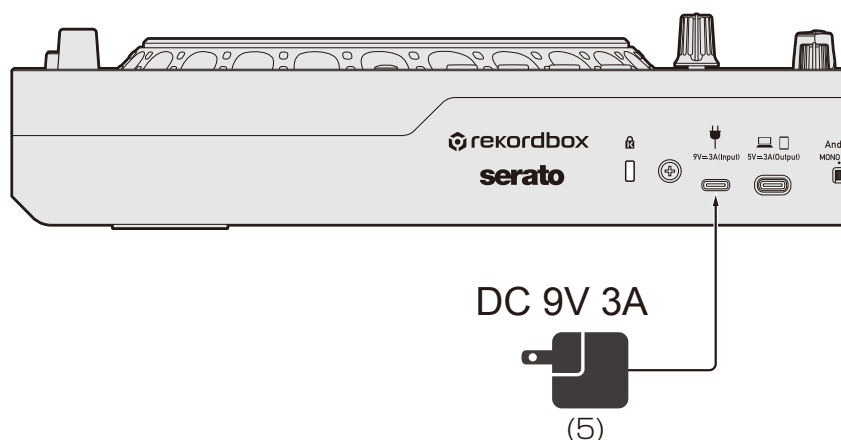
◆ PC/Macと組み合わせて使用する場合

- (1) PC/Mac
- (2) パワースピーカー、パワーアンプなど
- (3) パワースピーカー、パワーアンプ（ブースモニター用）など
- (4) マイク



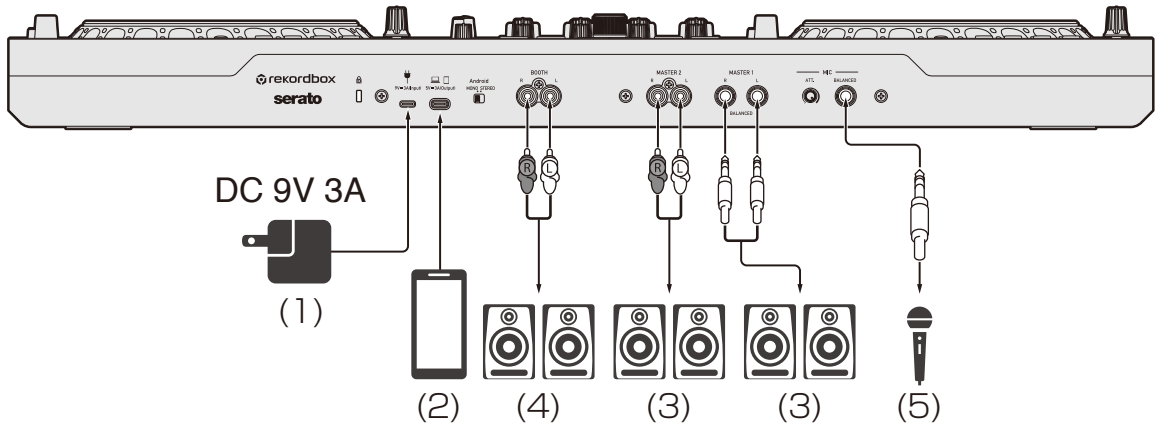
- USB A端子を持つ機器と組み合わせて使用する場合は本機の USB 端子（電源接続用）に電源アダプターまたはモバイルバッテリーを接続する必要があります。

- (5) USB電源アダプター、モバイルバッテリー



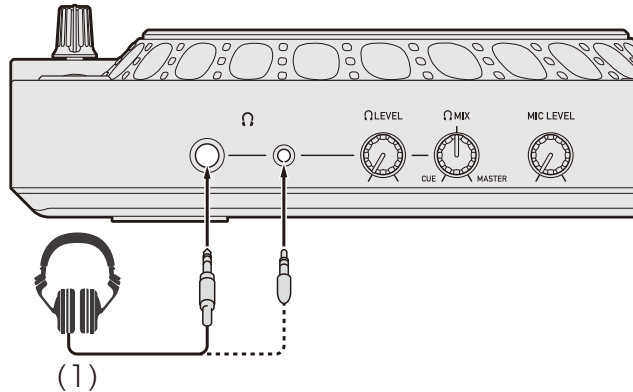
◆ モバイルデバイスと組み合わせて使用する場合

- (1) USB電源アダプター、モバイルバッテリー
- (2) モバイルデバイス
- (3) パワースピーカー、パワーアンプなど
- (4) パワースピーカー、パワーアンプ（ブースモニター用）など
- (5) マイク



本体前面部

- (1) ヘッドホン



接続の手順

- 1 本体前面部の[ (ヘッドホン)] 出力端子のいずれかにヘッドホンを接続する
- 2 [MASTER 1] 出力端子または [MASTER 2] 出力端子に、パワーアンプなどの出力機器を接続する
 - ブースモニターを使用するときは、[BOOTH] 出力端子にブースモニター用の機器を接続します。
- 3 USB端子（デバイス接続用）にPC/Mac、モバイルデバイスをUSBケーブルで接続する
- 4 PC/Mac、モバイルデバイスの電源をオンにする
- 5 USB端子（電源専用）にUSB電源アダプター、モバイルバッテリーを接続する（モバイルデバイスと組み合わせて使用する場合）
- 6 入出力端子に接続された機器（パワードスピーカー、マイクなど）の電源を入れる

rekordbox for Mac/Windows を使用する

rekordbox for Mac/Windows をインストールする

rekordbox for Mac/Windows を準備する

rekordbox for Mac/Windows をはじめてお使いになるお客様は、本手順に従って最新版の rekordbox for Mac/Windows をインストールしてください。

rekordbox for Mac/Windows を既にインストールされているお客様は、rekordbox for Mac/Windows 起動時に表示されるアップデートマネージャーから最新版にアップデートしてください。

- PC/Mac、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

インストール手順について

お客様がお使いになる PC/Mac のオペレーティングシステム（OS）により、インストールの手順が異なります。

❖ インストール手順（Mac）

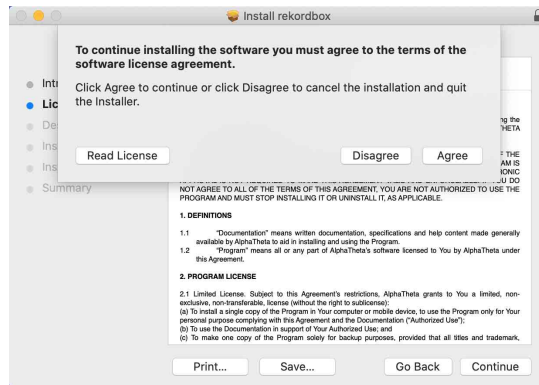
インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした rekordbox for Mac/Windows ソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

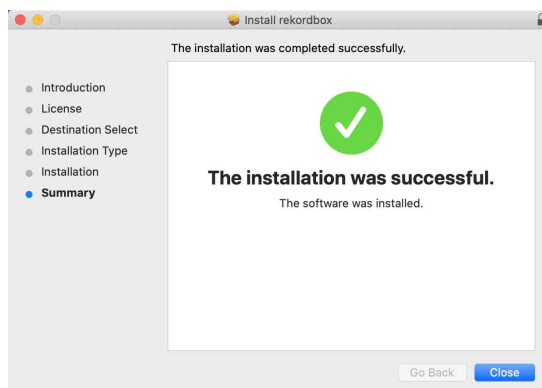
rekordbox for Mac/Windows を使用する

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは[同意しない]をクリックしてインストールを中止してください。

4 インストール完了画面が表示されたら、[閉じる]をクリックして rekordbox for Mac/Windows インストーラーを終了させる



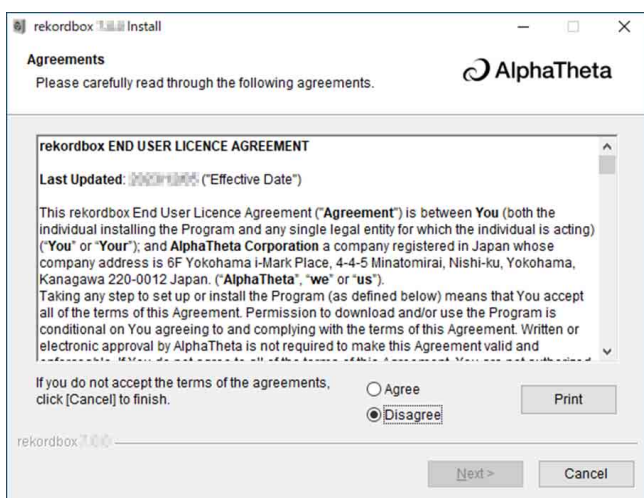
rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ インストール手順（Windows）

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PCで他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

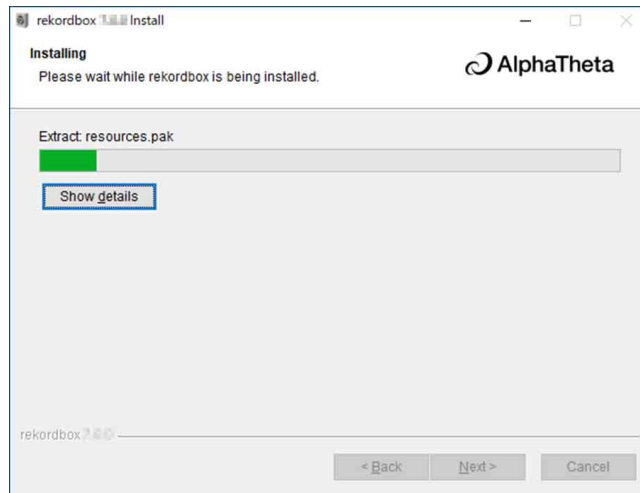
- 1 ダウンロードしたrekordbox for Mac/Windowsソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる
- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意します]を選択し、[次へ]をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[キャンセル]をクリックしてインストーラーを中止してください。

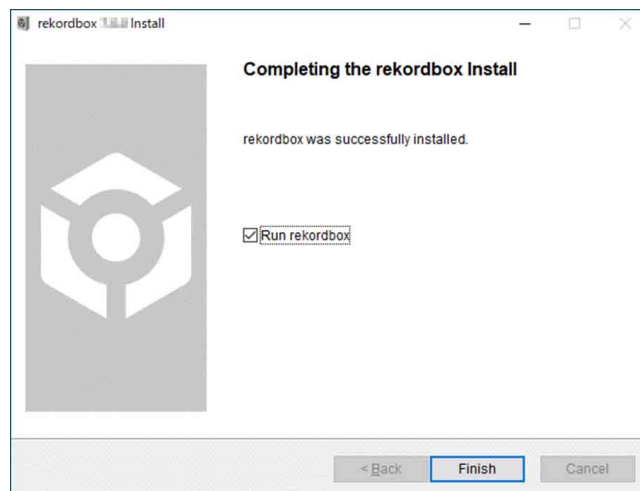
rekordbox for Mac/Windows を使用する

- インストール先を指定後、インストールが始まります。



インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

4 [完了]をクリックしてrekordbox for Mac/Windows インストーラーを終了させる



以上でインストールは完了です。

操作する（基本編）

rekordbox for Mac/Windows を起動する

rekordbox for Mac/Windows を使用するためには、AlphaTheta アカウントを登録する必要があります。

詳細は rekordbox イン트로ダクションをご覧ください。

Mac のとき

Finder で **【アプリケーション】** を選び、**【rekordbox 7】** フォルダーをクリックした後、rekordbox.app をダブルクリックする。

Windows 11 のとき

【スタート】 メニューから、**【すべてのアプリ】 > 【rekordbox】 > 【rekordbox 7】** のアイコンをクリックする

Windows 10 のとき

【スタート】 メニューから、**【rekordbox】 > 【rekordbox 7】** のアイコンをクリックする

オーディオ設定を確認する

rekordbox for Mac/Windowsの【環境設定】内にある【オーディオ】設定が下記の通りに設定されていることをご確認ください。

Mac のとき

【オーディオ】：[DDJ-GRV6]

【出力チャンネル】：

 【Master Output】：[DDJ-GRV6 : MASTER + Mac内のオーディオデバイス名]

 【Headphones Output】：[DDJ-GRV6 : PHONES]

- PC MASTER OUT がオフの場合は、【オーディオ】設定内の【Master Output】の項目が [DDJ-GRV6 : MASTER] になります。

Windows のとき

【オーディオ】：[DDJ-GRV6 WASAPI]

【出力チャンネル】：

 【Master Output】：[DDJ-GRV6 WASAPI : MASTER + PC内のオーディオデバイス名]

 【Headphones Output】：[DDJ-GRV6 WASAPI : PHONES]

- PC MASTER OUT がオフの場合は、【オーディオ】設定内の【Master Output】の項目が [DDJ-GRV6 WASAPI : MASTER] になります。
- PC MASTER OUT は、PC/Macのスピーカーからマスター音声を出力する機能です。初期設定ではPC MASTER OUTはオンになっています。
- PC/Macのスピーカーからマスター音声を出力させたくない場合は、右上の  をクリックして消灯の状態にしてください。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

楽曲ファイルを【コレクション】に追加する

【コレクション】とは、rekordbox for Mac/Windows が管理する楽曲ファイル一覧を表示する画面です。

PC/Mac内にある楽曲ファイルを rekordbox for Mac/Windows の楽曲コレクションとして登録し、解析することで、rekordbox for Mac/Windows でそのトラックを使用できます。

1 【メディアブラウザ】の【コレクション】をクリックする

【コレクション】内に登録されているトラックリストが表示されます。

2 Finder または Windows エクスプローラーを開いて、楽曲ファイルや楽曲ファイルを含むフォルダーをトラックリストにドラッグ&ドロップする

楽曲ファイルが【コレクション】に追加され、楽曲ファイルの解析が始まります。すべての楽曲ファイルの解析が終わるまでお待ちください。

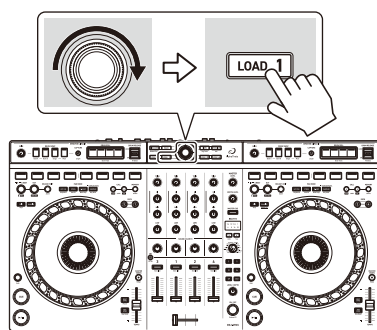
トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ1 (左側) にトラックをロードする方法を例にして説明します。

スマートロータリーセクターを回して、【コレクション】内のトラックを選択し、

[LOAD 1] ボタンを押す

トラックがデッキにロードされます。



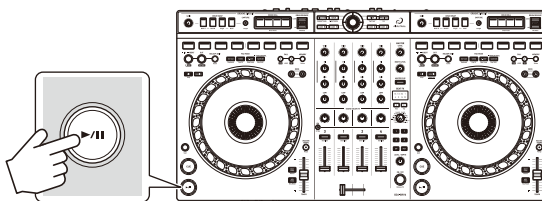
トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

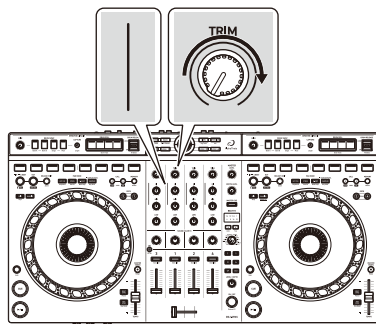
- [TRIM] ノブ：左に回しきった位置
- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [SOUND COLOR FX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL] ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/||]（再生／一時停止）] ボタンを押してトラックを再生する



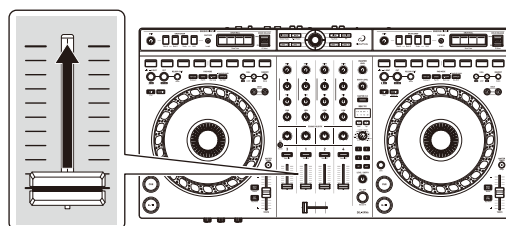
3 [TRIM] ノブを回す

チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM] ノブを調整してください。



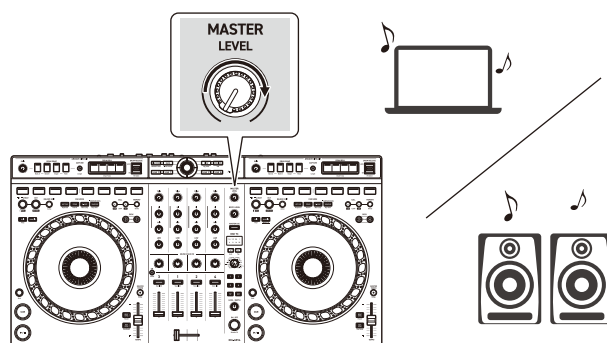
rekordbox for Mac/Windows を使用する

4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



5 [MASTER LEVEL] ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER 1]出力端子および[MASTER 2]出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- PC/Macのスピーカーから音声出力する場合は、**[MASTER LEVEL]**ノブではなく、PC/Macのスピーカーの音量を調節してください。
- **[MASTER 1]**出力端子および**[MASTER 2]**出力端子から音声出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、AlphaThetaサポートページへアクセスして、**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox for Mac/Windows を使用する

ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- [⌂(ヘッドホン) MIX]ノブ：中心位置
- [⌂(ヘッドホン) LEVEL]ノブ：左に回しきった位置

2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

3 [⌂(ヘッドホン) LEVEL]ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

rekordbox for Mac/Windows を終了する

[×]ボタンをクリックする、またはメニューから[ファイル]>[終了]を選ぶ

本機の電源をオフにする

USBケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

4 BEAT LOOP を使う

再生中に[IN]ボタンを押し続ける

ボタンを押した位置から4拍のループが自動で開始され、ループ再生を始めます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

❖ ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT]ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

MANUAL LOOP を使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 再生中に、ループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で [IN] ボタンを押す

ループインポイントが設定されます。

2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で [OUT] ボタンを押す

ループ再生が始まります。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ ループを分割する

ループ再生中に [CALL ◀] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを半分に分割することができます。

❖ ループを延長する

ループ再生中に [CALL ▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが2倍に延長されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを2倍に延長することができます。

❖ ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

❖ ループ再生の開始位置を変更する

ループ再生中に [IN] ボタンを押し、ジョグを回す

ループインポイントの位置が移動します。

❖ ループ再生の終了位置を変更する

ループ再生中に [OUT] ボタンを押し、ジョグを回す

ループアウトポイントの位置が移動します。

PERFORMANCE PADS を使う

❖ HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

- rekordbox for Mac/Windows では、ホットキューポイントは1曲につき、16か所まで設定および保存できますが、本機からは8か所まで設定および保存することができます。

HOT CUE を設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

HOT CUE モードに切替わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、
5：ホットキュー E、6：ホットキュー F、7：ホットキュー G、8：ホットキュー H

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

4 BEAT LOOP を設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

HOT CUE モードに切替わります。

2 再生中に [IN] ボタンを押し続ける

ボタンを押した位置から4拍のループが設定されて、ループ再生を始めます。

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

MANUAL LOOP を設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

HOT CUE モードに切替わります。

2 再生中に [IN] ボタンを押して、[OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ STEMS を使う

楽曲の各STEM（VOCAL/INST/DRUMS）の出力切替えやエフェクトをかけたいSTEMを選択します。

1 [STEMS]モードボタンを押す

STEMSモードに切替わります。

各STEMやエフェクトをかけたいSTEMの選択は以下のように割り当てられています。



1：VOCAL STEM、2：INST STEM、3：DRUMS STEM、4：アサインなし、
5：VOCAL STEMへのエフェクト選択、6：INST STEMへのエフェクト選択、
7：DRUMS STEMへのエフェクト選択、8：アサインなし

2 パフォーマンスパッド1～3のいずれかを押す

各STEMの出力設定が切替わります。

点灯しているパッドのSTEMのみ出力されます。

3 パフォーマンスパッド5～7のいずれかを押す

エフェクトをかけたいSTEMを選択します。

点灯しているパッドのSTEMにのみエフェクトがかかるようになります。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ BEAT JUMP を使う

再生中のトラックのリズムを崩さずに瞬時に再生位置を移動できます。

1 [B.JUMP] モードボタンを押す

BEAT JUMP モードに切替わります。

ジャンプする拍数設定が以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(初期状態)



1：ビートジャンプ1拍（左方向）、2：ビートジャンプ1拍（右方向）、
3：ビートジャンプ2拍（左方向）、4：ビートジャンプ2拍（右方向）、
5：ビートジャンプ4拍（左方向）、6：ビートジャンプ4拍（右方向）、
7：ビートジャンプ8拍（左方向）、8：ビートジャンプ8拍（右方向）

2 [Shift] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる拍数を変更する

[Shift] ボタンを押しながらパッド7を押すと、各パッドに割り当てられる拍数が小さくなります。

[Shift] ボタンを押しながらパッド8を押すと、各パッドに割り当てられる拍数が大きくなります。



7：拍数ダウン、8：拍数アップ

3 パッド1、パッド3、パッド5、またはパッド7を押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、再生位置が左方向へ移動します。

4 パッド2、パッド4、パッド6、またはパッド8を押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、再生位置が右方向へ移動します。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラーズロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

SAMPLER を使う準備をする

[SAMPLER] モードボタンを押し続けて [SAMPLER] パネルを表示する

トラックをサンプラーズロットにロードする

1 [SAMPLER] モードボタンを押す

SAMPLER モードに切替わります。

2 rekordbox for Mac/Windows の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える



rekordbox for Mac/Windows のサンプラーは4つのバンクがあり、それぞれのバンクには16のロットがあります。

3 スマートロータリーセクターを押して、カーソルをトラックリストへ移動する

4 スマートロータリーセクターを回す

サンプラーズロットへロードしたいトラックを選択します。

5 [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す

選択されたトラックがサンプラーズロットにロードされます。

- rekordbox for Mac/Windows の【環境設定】によっては、既にロード済みのサンプラーズロットへ上書きでロードできない場合があります。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

PERFORMANCE PADS を使って SAMPLER を演奏する

1 [SAMPLER] モードボタンを押す

SAMPLER モードに切替わります。

2 rekordbox for Mac/Windows の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える

3 rekordbox for Mac/Windows の画面上のサンプラーゲイン [GAIN] を調節する

4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- サンプラーズロットは以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(括弧外はデッキ1 またはデッキ3 の PAD モードが SAMPLER モードのとき、括弧内はデッキ2 またはデッキ4 の PAD モードが SAMPLER モードのとき)



1：スロット1 (スロット9)、2：スロット2 (スロット10)、
3：スロット3 (スロット11)、4：スロット4 (スロット12)、
5：スロット5 (スロット13)、6：スロット6 (スロット14)、
7：スロット7 (スロット15)、8：スロット8 (スロット16)

5 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

6 サンプラー再生中に [Shift] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ KEYBOARD モードを使う

パフォーマンスパッドを使って、キーボード（鍵盤）のようにホットキューに音階をつけることができます。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

KEYBOARD モードに切替わります。

2 パフォーマンスパッドを押す

KEYBOARD モードで使用するホットキューを選択します。

- ホットキューが設定されていない場合は、現在の再生位置がホットキューとして設定され、設定したホットキューを選択後にKEYBOARD モードで使用されます。
- KEYBOARD モードで使用するホットキューを選びなおすときは、[Shift] ボタンを押しながら [HOT CUE] モードボタンを押します。

KEYBOARD モードで使用するホットキューが選択されると、音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）



1：±0 セミトーン、2：+1 セミトーン、3：+2 セミトーン、4：+3 セミトーン、
5：+4 セミトーン、6：+5 セミトーン、7：+6 セミトーン、8：+7 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

3 [Shift] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる音の高さの設定を変更する

- [Shift] ボタンを押しながらパッド7を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが下がります。
- [Shift] ボタンを押しながらパッド8を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが上がります。



1～6：ホットキュー削除、7：ページの切替え、8：ページの切替え

rekordbox for Mac/Windows を使用する

4 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さでホットキューが再生されます。

- **[Shift]** ボタンを押しながらパッド1 からパッド6のいずれかを押すと、KEYBOARDモード用に選択したホットキューを削除できます。

❖ PAD FXを使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 **[Shift]** ボタンを押しながら **[STEMS]** モードボタンを押す

PAD FXモードに切替わります。

エフェクトが以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



[Shift] ボタンを押さないとき

1 : エフェクトA、2 : エフェクトB、3 : エフェクトC、4 : エフェクトD、
5 : エフェクトE、6 : エフェクトF、7 : エフェクトG、8 : エフェクトH

[Shift] ボタンを押したとき

1 : エフェクトI、2 : エフェクトJ、3 : エフェクトK、4 : エフェクトL、
5 : エフェクトM、6 : エフェクトN、7 : エフェクトO、8 : エフェクトP

2 パフォーマンスパッドを押し続ける、または **[Shift]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

3 パフォーマンスパッドから指を離す

エフェクトがオフになります。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

PAD FXのRELEASE FXを使う

あらかじめリリースFXをパフォーマンスパッドに割り当ててする必要があります。

- 1 リリースFX以外のエフェクトが割り当てられたパフォーマンスパッドを押し続ける、または[Shift]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

- 2 リリースFXが割り当てられたパフォーマンスパッドを押してから離す、または[Shift]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押してから離す

それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

❖ BEAT LOOPを使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を離してもループ再生を継続します。

- 1 [Shift]ボタンを押しながら、[B.JUMP]モードボタンを押す

BEAT LOOPモードに切替わります。

BEAT LOOPモードの拍数設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：ビートループ1/4拍、2：ビートループ1/2拍、3：ビートループ1拍、
4：ビートループ2拍、5：ビートループ4拍、6：ビートループ8拍、
7：ビートループ16拍、8：ビートループ32拍

- 2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

- 3 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ KEY SHIFT を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パッドに割り当てられた音の高さで再生中のトラックのキー（調）が変わります。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタンを押す

KEY SHIFT モードに切替わります。

音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）



1：±0 セミトーン、2：+1 セミトーン、3：+2 セミトーン、4：+3 セミトーン、
5：+4 セミトーン、6：+5 セミトーン、7：+6 セミトーン、8：+7 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

2 [Shift] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる音の高さの設定を変更する

- [Shift] ボタンを押しながらパッド7を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが下がります。
- [Shift] ボタンを押しながらパッド8を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが上がります。



7：ページの切替え、8：ページの切替え

3 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さで、再生中のトラックのキー（調）が変わります。

キューポイントを設定する・呼び出す

❖ キューポイントを設定する

ロード中のトラックにキューポイントまたはループポイントを設定することができます。

1 キューポイントを設定したい位置に再生位置を移動する

2 一時停止状態で [CUE] ボタンを押す

3 [MEMORY] ボタンを押す

手順2で設定されたキューポイントが保存されます。

- ループを組んだ状態で [MEMORY] ボタンを押すと、ループポイントが保存されます。

❖ キューポイントを呼び出す

設定したキューポイントまたはループポイントを呼び出すことができます。

[CALL ◀] ボタンまたは [CALL ▶] ボタンを押す

キューポイントまたはループポイントが呼び出されます。

❖ キューポイントを削除する

設定されたキューポイントまたはループポイントを削除することができます。

1 [CALL ◀] ボタンまたは [CALL ▶] ボタンを押す

削除したいキューポイントまたはループポイントを呼び出します。

2 [Shift] ボタンを押しながら [MEMORY] ボタンを押す

呼び出されたキューポイントまたはループポイントを消去できます。

SLIP を使う

スリップをオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキューの再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

- **[SLIP]** ボタンは、スリップモードにしたときに点灯し、バックグラウンドで再生が続いている間は点滅します。

❖ SLIP SCRATCH PLAY

1 VINYL モードがオンになっていることを確認する

[Shift] ボタンを押している間、**[SLIP]** ボタンが点灯することを確認します。

- 初期設定では、VINYL モードはオンに設定されています。

2 **[SLIP]** ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

3 再生中にジョグの天面を操作してスクラッチプレイする

スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 ジョグの天面から手を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 **[SLIP]** ボタンを押します。

❖ SLIP HOT CUE

1 **[HOT CUE]** モードボタンを押す

HOT CUE モードにします。

2 ホットキューを設定する

パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定します。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

3 [SLIP]ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける

ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。

ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP]ボタンを押します。

❖ SLIP BRAKING

1 rekordboxの[環境設定]>[コントローラー]>[デッキ]の中にある[バイナルスピードアジャスト]-[タッチ／ブレーキ]の設定を調整する

[バイナルスピードアジャスト]の設定はトラックの再生状態から停止するまでの速度などを調整します。

スリップブレーキングを使うときは、[バイナルスピードアジャスト]の[タッチ／ブレーキ]を調整して、ゆっくりと停止する設定にしておきます。

2 [SLIP]ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

3 再生中に[▶/⏸（再生／一時停止）]ボタンを押す

ゆっくりと再生が止まります。ゆっくりと停止している間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[▶/⏸（再生／一時停止）]ボタンを押す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP]ボタンを押します。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ SLIP AUTO BEAT LOOP

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

2 [IN] ボタンを押し続ける

4 拍のループが設定されて、ループ再生が始まります。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

❖ SLIP MANUAL LOOP

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

2 [IN] ボタンを押してから [OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [Shift]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[Shift]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [Shift]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[Shift]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

DUAL DECK モードを使う

DUAL DECK モードは、デッキ1とデッキ3（またはデッキ2とデッキ4）で2つの異なるトラックをミックスするときに、両方のデッキを同時にコントロールできます。マッシュアップやブレンドでミックスした2つの異なるトラックを1つのトラックであるかのように、スクラッチ、ループ、ホットキューなどの操作が可能です。

1 [DECK 1] ボタンを押しながら [DECK 3] ボタンを押す、または [DECK 3] ボタンを押しながら [DECK 1] ボタンを押す

DUAL DECK モードがオンになり、最初に押した [DECK] ボタンが点滅し、後に押した [DECK] ボタンが点灯します。

- DUAL DECK モードに入るときに、最初に押した [DECK] ボタンのデッキ状態が表示されます。
- [DECK 1] ボタンまたは [DECK 3] ボタンを押すと DUAL DECK モードはオフになります。操作デッキは押した [DECK] ボタンのデッキに切替わります。

以下の機能は DUAL DECK モードで両方のデッキを同時にコントロールできます。

ボタン／ノブなど	機能
ジョグ	スクラッチ、ピッチベンド
SLIP ボタン	スリップモード、VINYL モード
QUANTIZE ボタン	クオンタイズ設定
MASTER TEMPO ボタン	マスターテンポ
IN ボタン	ループイン、ループインアジャスト、4 ビートループ
OUT ボタン	ループアウト、ループアウトアジャスト
RELOOP/EXIT ボタン	リループ／イグジット
CALL ◀ ボタン	ループハーフ
CALL ▶ ボタン	ループダブル
HOT CUE モードボタン	HOT CUE モード、KEYBOARD モード
STEMS モードボタン	PAD FX モード

rekordbox for Mac/Windows を使用する

ボタン／ノブなど	機能
B.JUMP モードボタン	BEAT JUMP モード、BEAT LOOP モード
SAMPLER モードボタン	KEY SHIFT モード
パフォーマンスパッド	各 PAD モードの操作（STEMS モード、SAMPLER モードを除く）
▶/■（再生／一時停止） ボタン	再生、一時停止
CUE ボタン	キュー設定、バックキュー、キューポイントサンプラー
BEAT SYNC ボタン	SYNC モード
KEY SYNC ボタン	キーシンク、キーリセット

以下の機能は、DUAL DECK モードでは、**[DECK]** ボタンが点滅している側のデッキのみ操作できます。

ボタン／ノブなど	機能
TEMPO スライダー	テンポ調整
MASTER TEMPO ボタン	テンポレンジ
CALL ◀ ボタン	トラックに保存されたキューポイントまたはループポイントの呼び出し
CALL ▶ ボタン	トラックに保存されたキューポイントまたはループポイントの呼び出し
MEMORY ボタン	キューポイントまたはループポイントの保存／削除
RELOOP/EXIT ボタン	アクティブループ

- 各デッキで以下のモードが異なる状態のとき、自動で状態を **[DECK]** ボタンが点滅しているデッキに合わせます。
 - VINYL モードの状態
 - PAD モードの状態
 - スリップモードの状態
- GROOVE CIRCUIT 部は DUAL DECK モードの対象外となります。

GROOVE CIRCUIT を使う

デッキにロードされているトラックのDRUMS STEMを別のビートに入れ替えたり、新たなビートを追加することで簡単にトラックのアレンジができます。

❖ ドラムループ音源を DRUM SWAP SLOT にロードする

rekordbox for Mac/Windowsのトラックリストからドラムループ音源をドラッグしてDRUM SWAP SLOTにドロップします。

- rekordbox for Mac/Windowsの**[Drum Presetのロード]**ボタンからドラムループ音源をまとめてDRUM SWAP 1-4にロードすることもできます。
詳しくはrekordboxの操作説明書をご覧ください。

❖ ドラムループ音源を再生する

[DRUM SWAP 1-4]のいずれかのボタンを押す

押したボタンに登録されているドラムループ音源の再生が開始されます。
同じボタンを再度押すと停止します。

- DRUM SWAPで再生中のドラムループ音源は、ループ再生になります。(最大32拍)
- DRUM SWAPで再生中のドラムループ音源は、デッキにロードされているトラックの拍位置とBPMに同期します。
- デッキにロードされているトラックの拍位置とBPMに同期するには、事前に解析またはグリッドパネルでのBPM設定が必要になります。
詳しくはrekordboxの操作説明書をご覧ください。

- **[GAIN]**ノブを回すとDRUM SWAP 1-4全体の音量を調整できます。

❖ ドラムループ音源のバンクを切替える

各デッキのドラムループ音源には2つのバンクがあります。

[Shift]ボタンを押しながら[DRUM SWAP 1]ボタンを押す

[DRUM SWAP 1～4]ボタンのドラムループ音源をDRUM LOOP BANK Aのサンプル音源に入れ替えます。

[Shift]ボタンを押しながら[DRUM SWAP 2]ボタンを押す

[DRUM SWAP 1～4]ボタンのドラムループ音源をDRUM LOOP BANK Bのサンプル音源に入れ替えます。

- DRUM SWAP MULTI MODEの場合、BANK A/Bのドラムループ音源 計4つを同時に再生することができます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ ドラムループ音源の再生モードを選択する

ドラムループ音源の再生にはDRUM SWAP SINGLE MODEとDRUM SWAP MULTI MODEがあります。

[Shift] ボタンを押しながら [DRUM SWAP 3] を押す

ドラムループ音源の再生モードが DRUM SWAP SINGLE MODEになります。

DRUM SWAP SINGLE MODEでは、デッキにロードされているトラックのDRUMS STEMと、ドラムループ音源が入れ替わります。

- DRUM SWAP を再生すると、デッキのSTEM MUTE (DRUMS) がOFF (ミュート) になります。
- DRUM SWAP を停止すると、デッキのSTEM MUTE (DRUMS) がONになります。

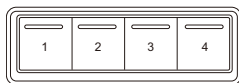
[Shift] ボタンを押しながら [DRUM SWAP 4] を押す

ドラムループ音源の再生モードがDRUM SWAP MULTI MODEになります。

DRUM SWAP MULTI MODEでは、再生を開始したドラムループ音源が追加され、複数のドラムループ音源を再生できます。

❖ ドラムループ音源やDRUMS STEMにロールエフェクトをかける

4つの[DRUM ROLL]ボタンは以下のようにエフェクトと拍が設定されています。



1 : ロール (1/8拍)、2 : ロール (1/4拍)、3 : ロール (1/2拍)、4 : ロール (1拍)

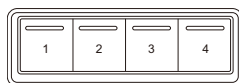
いずれかの[DRUM ROLL]ボタンを押し続ける

押している間、ドラムループ音源およびデッキのDRUMS STEMにロールエフェクトがかかります。

- ドラムループ音源が再生されていない場合、DRUMS STEMにエフェクトがかかります。
- ボタンから手を離すとロールエフェクトはオフになります。

❖ ドラムループ音源やDRUMS STEMにトランスエフェクトをかける

[Shift] ボタンを押したときの 4つの[DRUM ROLL]ボタンは以下のようにエフェクトと拍が設定されています。



1 : トランス (1/8拍)、2 : トランス (1/4拍)、3 : トランス (1/2拍)、
4 : トランス (1拍)

rekordbox for Mac/Windows を使用する

[Shift] ボタンを押しながら、いずれかの[DRUM ROLL] ボタンを押し続ける

押している間、ドラムループ音源およびデッキのDRUMS STEMにトランスエフェクトがかかります。

- ドラムループ音源が再生されていない場合、DRUMS STEMにエフェクトがかかります。
- ボタンから手を離すとトランスエフェクトはオフになります。

❖ ドラムループ音源やDRUMS STEMにDRUM RELEASE FXをかける

[DRUM RELEASE] レバーを手前または奥側に倒す

倒している間、ドラムループ音源およびデッキのDRUMS STEMにDRUM RELEASE FXがかかります。

- ドラムループ音源が再生されていなくてもDRUMS STEMにエフェクトがかかります。
- レバーをセンター位置に戻すとDRUM RELEASE FXはオフになります。

❖ ドラムループ音源を入れ替える

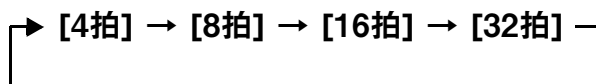
デッキにロードされているトラックのDRUMS STEMをキャプチャして、[DRUM SWAP] ボタンにロードすることができます。

1 デッキに任意のトラックをロードする

2 キャプチャしたいDRUMS STEMの範囲の先頭位置で[CAPTURE] ボタンを押す

ボタンを押した位置を先頭に範囲が設定されます。

- 範囲を変更したい場合は[Shift] ボタンを押しながら[CAPTURE] ボタンを押すと範囲が切替わります



- 再生中の[DRUM SWAP] ボタンのドラムループ音源は入れ替えることができません

3 いずれかの[DRUM SWAP] ボタンを押す

手順2で設定された範囲のDRUMS STEMの音声が、押した[DRUM SWAP]にロードされます。

- ロード後に[DRUM SWAP] ボタンを押すと、入れ替えたドラムループ音源を再生することができます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

トラックを解析する

rekordbox for Mac/Windowsのトラックリストに楽曲ファイルまたは楽曲ファイルの入ったフォルダーをドラッグ&ドロップすると、トラックの解析が始まります。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPMや波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

BEAT FX を使う

BEAT FXはデッキにロードしたトラックのテンポ（BPM）にあわせてエフェクトをかけることができます。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[BEAT◀] ボタンまたは[BEAT▶] ボタンを押す

BPMの測定モードを選択します。

- **[AUTO] : [Shift] ボタンを押しながら [BEAT◀] ボタンを押す。**入力されている音声信号からBPMを自動測定します。
- **[TAP] : [Shift] ボタンを押しながら [BEAT▶] ボタンを押す。**BPMを手動で入力します。

2 [BEAT FX SELECT] ノブを回す

エフェクトの種類を選択します。

rekordbox内のFX1ユニットの1番目のエフェクトの種類を切替えます。

3 [BEAT FX CH SELECT] ボタンを押す

エフェクトを加えるチャンネルを選択します。

- **[1]～[4] :** 各チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- **[SP] :** サンプラーの音声にエフェクトを加えます。
- **[MST] :** マスターチャンネルの音声にエフェクトを加えます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

4 [BEAT◀]ボタンまたは[BEAT▶]を押す

エフェクト音を同期させる拍数を設定します。

拍数に対応したエフェクトタイムが自動で設定されます。

5 [BEAT FX ON/OFF]ボタンを押す

音声にエフェクトがかかります。

[BEAT FX LEVEL/DEPTH]ノブを回すと、エフェクトの量的パラメーターを調整できます。

エフェクトをオンしているとき[BEAT FX ON/OFF]ボタンが点滅します。

- [BEAT FX ON/OFF]ボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

マイクを使う

1 [MIC]入力端子にマイクを接続する

2 [MIC LEVEL]ノブを回して、[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整する

- 右に回しすぎると、大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

3 マイクに音声を入力する

- 本機に入力されたマイク音声を rekordbox for Mac/Windows で加工することはできません。

rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox for Mac/Windows 上で変更することができます。

【環境設定】の**【コントローラー】**内にある設定項目で変更します。

rekordbox for Mac/Windows と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

【コントローラー】内の**【デッキ】**内：

【バックスピンレングス】の設定

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

- **【ショート】**：バックスピンレングス ショート
- **【ノーマル】**：バックスピンレングス ノーマル
- **【ロング】**：バックスピンレングス ロング

【Slip モードフラッシング】の設定

スリップモードフラッシングの設定を変更します。

- **【有効】**：スリップモードをオンにしたときにスリップ動作に関連するボタンが点滅します。
- **【無効】**：スリップモードをオンにしたときにスリップ動作に関連するボタンは点滅しません。

【Slip モードが On 時の Slip ボタン点灯設定】

スリップモードがオンのときの**【SLIP】**ボタンの点灯動作を設定します。

- **【点灯】**：スリップモードがオンのとき、**【SLIP】**ボタンが点灯し、スリップ動作時に点滅します。
- **【点滅】**：スリップモードがオンのとき、**【SLIP】**ボタンは常に点滅します。

【コントローラー】内の**【ミキサー】**内：

【フェーダースタート】の設定

フェーダースタート機能の設定を変更します。

【SHIFT ボタンを押しながらチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作した時にフェーダースタート動作する】にチェックを入れると有効になります。

【クロスフェーダー】の**【Cut Lag】**の設定

クロスフェーダー両端の遊び（カッタグ）を調整することができます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

0.3 mm から 5.5 mm まで 0.1 mm 単位で調整することができます。

- 初期設定では、1.0 mm に設定されています。
- カットラグの数値は目安であり、この数値通りではない場合があります。

[Booth出力]の設定

ブース出力にマイク音声を入力する / しないを設定します。

- **[Booth出力にMic音声を出力しない]**のチェックをはずすと、ブース出力にマイク音声を出力します。チェックを入れるとブース出力にマイク音声を出力しません。

[Headphones]の設定

[ (ヘッドホン)]出力端子の出力音声を切替えます。

- **[STEREO]**：モニター音声をステレオで出力します。
- **[MONO SPLIT]**：左チャンネルからマスター音声以外のモニター音声を、右チャンネルからマスター音声のモニター音声を出力します。

[コントローラー]内の[DDJ-GRV6]内：

[REC OUT]の設定

REC OUT にマイク音声を出力する / しないを設定します。

[REC OUTにMIC音声をミックスする]のチェックを入れると REC OUT にマイク音声を出力します。

[デモモード]の設定

デモモード開始までの時間の設定を行います。

初期設定ではデモモードは**[10分]**に設定されています。

デモモード中、本機のいずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードが解除されます。

- **[1分]**：1分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **[5分]**：5分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **[10分]**：10分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **[無効]**：デモモードは開始されません。

[パワーマネジメント]の設定

パワーマネジメント機能を**[有効]**に設定しているときに、各チャンネルに音声信号が入力されていない状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。

オフモードになると、右側デッキの**[QUANTIZE]**ボタンが点灯します。

点灯している**[QUANTIZE]**ボタンを押すと、オフモードを解除できます。

- パワーマネジメント機能の初期値は**[有効]**となります。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは、**[無効]**に設定してください。
- パワーマネジメント機能を**[無効]**に設定した場合、消費電力が増加する場合があります。

Serato DJ Pro を使用する

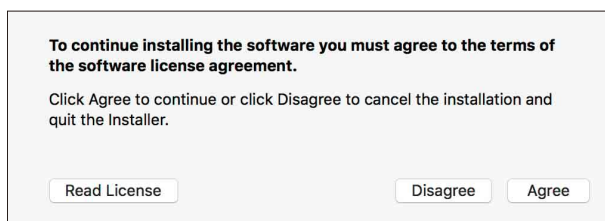
Serato DJ Pro をインストールする

❖ インストール手順（Mac）

インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした Serato DJ Pro ソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる
- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする

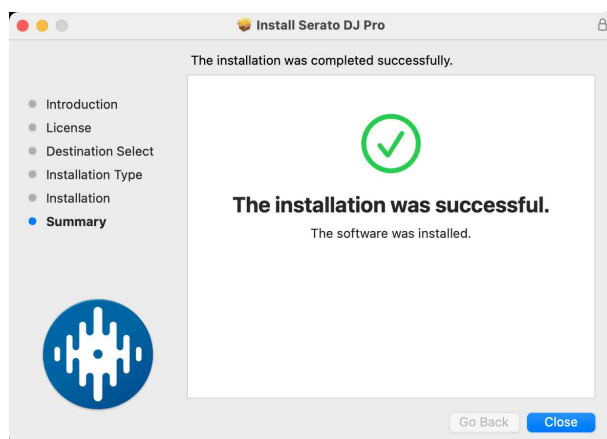


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは【同意しない】をクリックしてインストールを中止してください。

- 4 【インストール】をクリックする
- 5 画面の指示に従ってインストールする

Serato DJ Pro を使用する

6 [閉じる]をクリックして、インストーラーを終了させる



❖ インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PC上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 ダウンロードしたSerato DJ Proソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[I agree to the license terms and conditions]を選択し、[Install]をクリックする

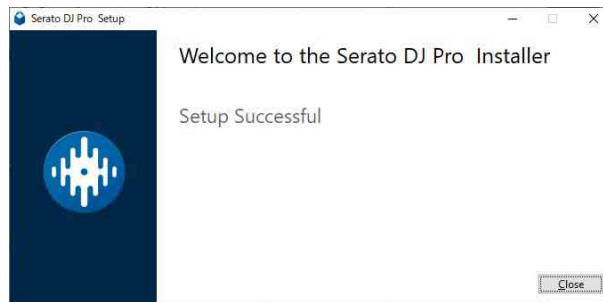
- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[Close]をクリックしてインストールを中止してください。



Serato DJ Pro を使用する

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

4 [Close]をクリックしてSerato DJ Pro インストーラーを終了させる



操作する（基本編）

Serato DJ Pro を起動する

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Pro ソフトウェアの操作については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

Mac のとき

Finderで【アプリケーション】フォルダーを開いてから、【Serato DJ Pro】のアイコンをクリックする。

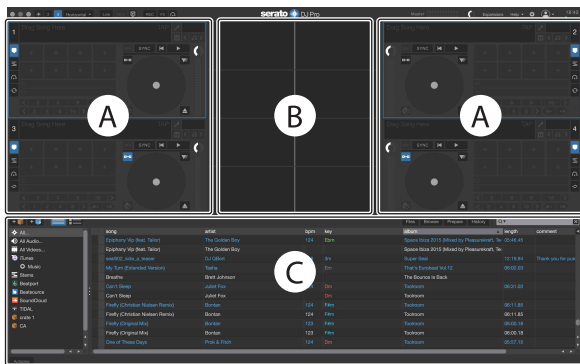
Windows 11 のとき

【スタート】メニューから、【すべてのアプリ】>【Serato】>【Serato DJ Pro】のアイコンをクリックする。

Windows 10 のとき

【スタート】メニューから、[Serato]>[Serato DJ Pro]のアイコンをクリックする。

Serato DJ Pro ソフトウェア起動直後のPC/Mac画面



- 本機をお使いの場合は、Serato DJ Proを使用するためにアクティベーションやライセンスを購入する必要はありません。ただし、キー変更の機能を使うためにPitch 'n Time expansionの購入をお勧めします。

[serato.com/dj/pro/expansions/pitchbentmedi](https://www.serato.com/dj/pro/expansions/pitchbentmedi)

初回起動時は、画面右側に **[Login to Serato.com]** が表示されることがあります。アカウントにログインして、拡張パックをアクティベートしてください。

Serato DJ Pro を使用する

Serato DJ Pro ソフトウェアにトラックをロードしたときのPC/Mac画面

PC/Mac画面の左上にある**[Library]**をクリックして、プルダウンメニューから**[Vertical]**や**[Horizontal]**を選んでSerato DJ Proの画面を切替えてください。



A デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPMなどのトラック情報や全体波形などを表示します。

B ウェーブフォームディスプレイ

ロードされたトラックの波形を表示します。

C ブラウズ部

ライブラリの中のトラックや複数のトラックをまとめて保存したcrateを表示します。

トラックをインポートする

- Serato DJ Pro ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato Limited 社の DJ ソフトウェア（Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro）をお使いのお客様で、トラックライブラリを作成されている場合は、以前作成したトラックライブラリをそのまま使うことができます。
- Serato DJ Intro をお使いのお客様で、すでにトラックライブラリを作成されている場合は、トラックの再解析が必要になる場合があります。

以下では、トラックをインポートする代表的な操作方法について説明します。

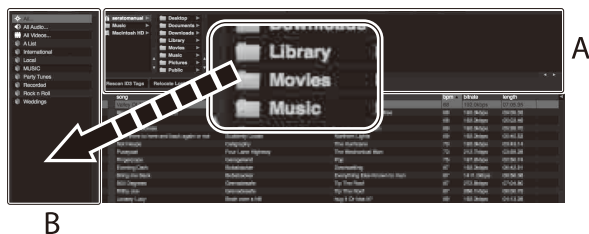
1 Serato DJ Pro ソフトウェア画面の [Files] ボタンをクリックして [Files] パネルを開く

お使いの PC/Mac および PC/Mac に接続されている周辺機器の中身が [Files] パネルに表示されます。

2 [Files] パネル内でライブラリに加えたいトラックが含まれているフォルダーをクリックして選択する

3 Serato DJ Pro ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを crates パネルにドラッグ&ドロップする

crate が作成され、ライブラリにトラックが追加されます。



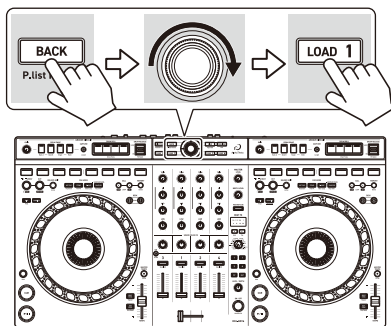
A [Files] パネル

B crates パネル

Serato DJ Pro を使用する

トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ1 (左側)にトラックをロードする方法を例にして説明します。



- 1 本機の[BACK]ボタンを押して、Serato DJ Proの画面のcratesパネルにカーソルを移動させ、スマートロータリーセクターを回して、crateなどを選ぶ
- 2 スマートロータリーセクターを押して、Serato DJ Proの画面のライブラリにカーソルを移動させ、スマートロータリーセクターを回して、トラックを選ぶ



A ライブラリ

B crates パネル

- 3 [LOAD 1]ボタンを押す

トラックがデッキ1にロードされます。

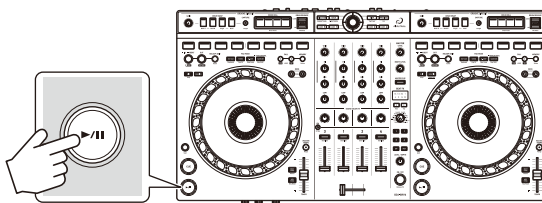
トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

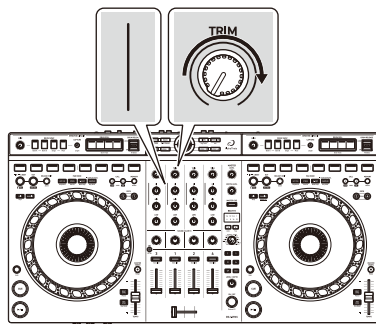
- [TRIM] ノブ：左に回しきった位置
- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [SOUND COLOR FX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL] ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/||]（再生／一時停止）] ボタンを押してトラックを再生する



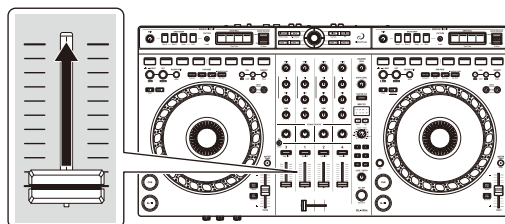
3 [TRIM] ノブを回す

チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM] ノブを調整してください。



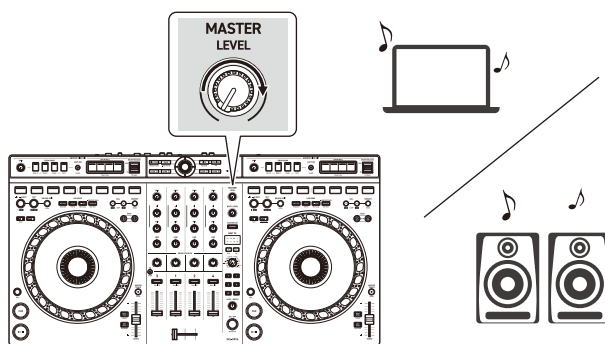
Serato DJ Pro を使用する

4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



5 [MASTER LEVEL] ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER 1]出力端子および[MASTER 2]出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- [MASTER 1]出力端子および[MASTER 2]出力端子から音声が出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、AlphaThetaサポートページへアクセスして、**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- [⌂(ヘッドホン) MIX]ノブ：中心位置
- [⌂(ヘッドホン) LEVEL]ノブ：左に回しきった位置

2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

3 [⌂(ヘッドホン) LEVEL]ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

Serato DJ Pro を終了する

[×]ボタンをクリックする

本機の電源をオフにする

USBケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

4 BEAT LOOP を使う

再生中に [IN] ボタンを押し続ける

ボタンを押した位置から4拍のループが自動で開始され、ループ再生を始めます。

❖ ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

MANUAL LOOP を使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

1 再生中にループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で、[IN] ボタンを押す

2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で、[OUT] ボタンを押す

ループ再生が始まります。

❖ ループを分割する

ループ再生中に [CALL ◀] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを半分に分割することができます。

❖ ループを延長する

ループ再生中に [CALL ▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが2倍に延長されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを2倍に延長することができます。

❖ ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

PERFORMANCE PADS を使う

それぞれの機能はパッドモードボタン（[HOT CUE] モードボタン、[STEMS] モードボタン、[B.JUMP] モードボタン、[SAMPLER] モードボタン）で切替えます。

❖ HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューポイントは1曲につき8か所まで設定および保存できます。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

HOT CUE モードに切替わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：ホットキュー 1、2：ホットキュー 2、3：ホットキュー 3、4：ホットキュー 4、
5：ホットキュー 5、6：ホットキュー 6、7：ホットキュー 7、8：ホットキュー 8

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

❖ STEMS を使う

楽曲の各 Stem（Vocal/Melody/Bass/Drums）の出力切替えやエフェクトをかけたい Stem を選択します。

1 [STEMS] モード ボタンを押す

STEMS モードに切替わります。

各 Stem や Stem へのエフェクトは以下のように割り当てられています。



1 : Vocal Stem、2 : Melody Stem、3 : Bass Stem、4 : Drums Stem、
5 : Vocal Echo、6 : Instrumental Echo、7 : Instrumental Braker、8 : Drums Echo

2 パフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

各 Stem の出力設定が切替わります。

点灯しているパッドの Stem のみ出力されます。

3 パフォーマンスパッド5～8のいずれかを押す

各 Stem に対してのみエフェクトをかけることができます。

❖ BEAT JUMP を使う

再生位置を BEAT 単位で移動できます。

1 [B.JUMP] モード ボタンを押す

BEAT JUMP モードに切替わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押す

パッドの設定は以下のようになります。



1 : 左方向へ BEAT JUMP 実行、2 : 半分の BEAT JUMP 幅を選択、
3 : 2 倍の BEAT JUMP 幅を選択、4 : 右方向へ BEAT JUMP 実行、
5 : プレビアストラック、6 : サーチ ◀◀、7 : サーチ ▶▶、8 : Censor

Serato DJ Pro を使用する

❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラーズロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 [SAMPLER] モード ボタンを押し続ける

Serato DJ Pro の画面で[SAMPLER]パネルが表示されます。

2 [SAMPLER] モード ボタンを押す

SAMPLER モードに切替わります。

3 Serato DJ Pro の画面でサンプラーのバンクを選択する

サンプラーのバンクを切替えます。サンプラーはA、B、C、Dの4つのバンクがあり、それぞれのバンクには8つのスロットがあります。

4 トラックをドラッグ&ドロップし、[SAMPLER]パネルの各スロットに曲をロードする

サンプラーズロットにトラックがロードされます。

5 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- Serato DJ Pro のサンプラーのモードによって再生の仕方が変わります。詳しくは、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。



1：スロット1、2：スロット2、3：スロット3、4：スロット4、5：スロット5、
6：スロット6、7：スロット7、8：スロット8

- **[Shift]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

Serato DJ Pro を使用する

❖ PITCH PLAY を使う

ピッチプレイとは、Pitch 'n Time DJの機能です。

- Pitch 'n Time DJを使用するには、Pitch 'n Time DJの購入およびアクティベートが必要です。下記サイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/expansions/pitchtimedj

1 [Shift] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

PITCH PLAY モードに切替わります。

2 [Shift] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されているホットキューポイントが選択されます。

3 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチで、選択したホットキューポイントから再生を開始します。



1 : -4 セミトーン、2 : -3 セミトーン、3 : -2 セミトーン、4 : -1 セミトーン、
5 : ±0 セミトーン、6 : +1 セミトーン、7 : +2 セミトーン、8 : +3 セミトーン

❖ PAD FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[STEMS] モードボタンを押す

PAD FX モードに切替わります。

2 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

パッドの設定は以下のようになります。



1 : エフェクトA、2 : エフェクトB、3 : エフェクトC、4 : エフェクトD、
5 : エフェクトE、6 : エフェクトF、7 : エフェクトG、8 : エフェクトH

3 パフォーマンスパッドから指を離す、またはもう一度押す

エフェクトがオフになります。

❖ AUTO LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループが設定され、パフォーマンスパッドを離してもループ再生を続けます。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[B.JUMP] モードボタンを押す

AUTO LOOP モードに切替わります。

2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループ再生を開始します。

- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生を解除します。

パッドの設定は以下のようになります。



1 : 1/8 拍、2 : 1/4 拍、3 : 1/2 拍、4 : 1 拍、5 : 2 拍、6 : 4 拍、7 : 8 拍、8 : 16 拍

❖ KEY SHIFT を使う

キーシフトとは、Pitch 'n Time DJ の機能です。

- Pitch 'n Time DJ を使用するには、Pitch 'n Time DJ の購入およびアクティベートが必要です。下記サイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/expansions/pitchntimedj

パフォーマンスパッドを押すと、パッドに割り当てられた音の高さで再生中のトラックのキー（調）が変わります。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタンを押す

KEY SHIFT モードに切替わります。

パッドの設定は以下のようになります。



1 : -4 セミトーン、2 : -3 セミトーン、3 : -2 セミトーン、4 : -1 セミトーン、
5 : ±0 セミトーン、6 : +1 セミトーン、7 : +2 セミトーン、8 : +3 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さで、再生中のトラックのキー（調）が変わります。

STEMS FX を使う

Stem FX機能により、特定のStemにエフェクトをかけStemミックスをよりクリエイティブに行うことができます。

- 付属のオーバーレイシートをお使いください。

❖ STEMS を選択する

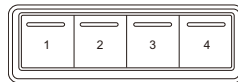
[VOCAL][MELODY][BASS][DRUMS] (DRUM SWAP 1-4) ボタンのいずれかを押す

Stem用エフェクトの対象に設定されます。

- 複数のStemを選択することができます。
- 選択中のStemは点灯します。

❖ 選択中のSTEMにROLLエフェクトをかける

4つの[STEMS ROLL (DRUM ROLL)]ボタンは以下のようにエフェクトと拍が設定されます。



- 1：ロール (1/8 拍)、2：ロール (1/4 拍)、3：ロール (1/2 拍)、
4：ロール (1 拍)

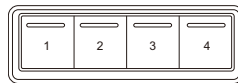
いずれかの[STEMS ROLL (DRUM ROLL)]ボタンを押し続ける

押している間、選択中のStemにロールエフェクトがかかります。

ボタンから手を離すとロールエフェクトはオフになります。

❖ 選択中のSTEMにTRANSエフェクトをかける

[Shift]ボタンを押したときの4つの[STEMS ROLL (DRUM ROLL)]ボタンは以下のようにエフェクトと拍が設定されます。



- 1：トランス (1/8 拍)、2：トランス (1/4 拍)、3：トランス (1/2 拍)、
4：トランス (1 拍)

[Shift]ボタンを押しながらいずれかの[STEMS ROLL (DRUM ROLL)]ボタンを押し続ける

押している間、選択中のStemにトランスエフェクトがかかります。

ボタンから手を離すとトランスエフェクトはオフになります。

❖ ROLL、TRANS エフェクトの動作モードを切替える

[Shift] ボタンを押しながら [1/2 BEAT (CAPTURE)] ボタンを押す

Roll、Trans の動作モードが切替わります。

- [Shift] を押しているときに、[1/2 BEAT (CAPTURE)] が点灯している場合は、[STEMS ROLL (DRUM ROLL)] ボタンを押して離れた後もエフェクトが継続します。再度 [STEMS ROLL (DRUM ROLL)] ボタンを押すとエフェクトが解除されます。
- [Shift] を押しているときに、[1/2 BEAT (CAPTURE)] が消灯している場合は、[STEMS ROLL (DRUM ROLL)] ボタンを押している間エフェクトがかかります。

❖ [FX (DRUM RELEASE)] レバーでかけるエフェクトを選択する

[FX (DRUM RELEASE)] レバーでコントロールする Stem 用エフェクト (Echo Out、Roll Out、Braker、Delay) を選択します。

[Shift] ボタンを押しながら [VOCAL][MELODY][BASS][DRUMS] (DRUM SWAP 1-4) ボタンのいずれかを押す

選択したエフェクトは [FX (DRUM RELEASE)] レバーにアサインされ、エフェクトオン時に選択した Stem にかかります。

❖ [FX (DRUM RELEASE)] レバーでかけるエフェクトの LEVEL/DEPTH を調整する

[FX (DRUM RELEASE)] レバーでコントロールする Stem 用エフェクト (Echo Out、Roll Out、Braker、Delay) の Level/Depth を調整します。

[LEVEL/DEPTH (GAIN)] ノブを回す

エフェクトの量的パラメーターを調整できます。

❖ [FX (DRUM RELEASE)] レバーでかけるエフェクトの拍を選択する

[FX (DRUM RELEASE)] レバーでコントロールする Stem 用エフェクト (Echo Out、Roll Out、Braker、Delay) の拍を切替えます。

[1/2 BEAT (CAPTURE)] ボタンを押す

拍が切替わります。

- [1/2 BEAT (CAPTURE)] ボタンが暗く点灯しているとき、1 拍に設定されます。
- [1/2 BEAT (CAPTURE)] ボタンが点灯しているとき、1/2 拍に設定されます。

Serato DJ Pro を使用する

❖ 選択中のSTEMに[FX (DRUM RELEASE)]レバーでエフェクトをかける

[VOCAL][MELODY][BASS][DRUMS] (DRUM SWAP 1-4) ボタンで選択しているStemに対してエフェクトをかけます。

1 レバーを手前または奥に倒す

エフェクトがかかります。

- エフェクトの種類は[Shift]を押しながら[VOCAL]、[MELODY]、[BASS]、[DRUMS] (DRUM SWAP 1-4) ボタンで設定します。
- エフェクトの拍は[1/2 BEAT (CAPTURE)]ボタンで設定します。
- エフェクトのLevel/Depthは[LEVEL/DEPTH (GAIN)]ノブで調整します。

2 レバーをセンター位置に戻す

エフェクトが解除されます。

SLIPを使う

スリップをオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキューの再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

- [SLIP]ボタンは、スリップモードにしたときに点灯し、バックグラウンドで再生が続いている間は点滅します。

❖ SLIP SCRATCH PLAY

1 VINYLモードがオンになっていることを確認する

[Shift]ボタンを押している間、[SLIP]ボタンが点灯することを確認します。

- 初期設定では、VINYLモードはオンに設定されています。

2 [SLIP]ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

3 再生中にジョグの天面を操作してスクラッチプレイする

スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 ジョグの天面から手を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP]ボタンを押します。

❖ SLIP HOT CUE

1 [HOT CUE]モードボタンを押す

HOT CUE モードにします。

2 パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定する

3 [SLIP]ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける

ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。

ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP]ボタンを押します。

❖ SLIP BRAKING

1 Serato DJ Proの[]メニューの[DJ Preferences]タブの中にある[BRAKING] - [Stop Time]の設定を調整する

[BRAKING]の設定は、トラックの再生状態から停止するまでの速度を調整します。

スリップブレーキングを使うときは、[BRAKING]の[Stop Time]のノブを調整して、ゆっくりと停止する設定にしておきます。

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

3 再生中に[▶/|| (再生／一時停止)] ボタンを押す

ゆっくりと再生が止まります。ゆっくりと停止している間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[▶/|| (再生／一時停止)] ボタンを押す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP] ボタンを押します。

❖ SLIP AUTO BEAT LOOP

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

2 [IN] ボタンを押し続ける

4拍のループが設定されて、ループ再生が始まります。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP] ボタンを押します。

❖ SLIP MANUAL LOOP

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

2 [IN] ボタンを押してから [OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP]ボタンを押します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [Shift] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[Shift]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [Shift] ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

Serato DJ Pro を使用する

- 再生中に **[Shift]** ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

DUAL DECK モードを使う

DUAL DECK モードは、デッキ1とデッキ3（またはデッキ2とデッキ4）で2つの異なるトラックをミックスするときに、両方のデッキを同時にコントロールできます。マッシュアップやブレンドでミックスした2つの異なるトラックを1つのトラックであるかのように、スクラッチ、ループ、ホットキューなどの操作が可能です。

1 **[DECK 1]** ボタンを押しながら **[DECK 3]** ボタンを押す、または **[DECK 3]** ボタンを押しながら **[DECK 1]** ボタンを押す

DUAL DECK モードがオンになり、最初に押した **[DECK]** ボタンが点滅し、後に押した **[DECK]** ボタンが点灯します。

- DUAL DECK モードに入るときに最初に押した **[DECK]** ボタンのデッキ状態が表示されます。
- [DECK 1]** ボタンまたは **[DECK 3]** ボタンを押すと DUAL DECK モードはオフになります。操作デッキは押した **[DECK]** ボタンのデッキに切り替わります。

以下の機能は DUAL DECK モードで両方のデッキを同時にコントロールできます。

ボタン／ノブなど	機能
ジョグ	スクラッチ、ピッチベンド
SLIP ボタン	スリップモード、VINYL モード
QUANTIZE ボタン	クオンタイズ設定
MASTER TEMPO ボタン	キーロック
IN ボタン	ループイン、ループインアジャスト、4 ビートループ
OUT ボタン	ループアウト、ループアウトアジャスト
RELOOP/EXIT ボタン	リループ／イグジット、ループアクティブ

Serato DJ Pro を使用する

ボタン／ノブなど	機能
CALL ◀ ボタン	ループハーフ、ループスロットの選択
CALL ▶ ボタン	ループダブル、ループスロットの選択
MEMORY ボタン	ループスロットの保存／削除
HOT CUE モードボタン	HOT CUE モード、KEYBOARD モード
STEMS モードボタン	PAD FX モード
B.JUMP モードボタン	BEAT JUMP モード、BEAT LOOP モード
SAMPLER モードボタン	KEY SHIFT モード
パフォーマンスパッド	各 PAD モードの操作 (STEMS モード、SAMPLER モードを除く)
▶/ (再生／一時停止) ボタン	再生、一時停止
CUE ボタン	キュー設定、バックキュー、キューポイントサンプラー
BEAT SYNC ボタン	SYNC オン、SYNC オフ
KEY SYNC ボタン	キーシンク、キーリセット
GAIN ノブ	Stem 用エフェクトの Level/Depth
DRUM SWAP ボタン	各 Stem のオン／オフ、Stem 用エフェクトの選択
CAPTURE ボタン	Stem 用エフェクトの拍設定
DRUM ROLL ボタン	Roll、Trans
DRUM RELEASE レバー	Stem 用エフェクト

以下の機能は、DUAL DECK モードでは、**[DECK]** ボタンが点滅している側のデッキのみ操作できます。

ボタン／ノブなど	機能
TEMPO スライダー	テンポ調整
MASTER TEMPO ボタン	テンポレンジ

Serato DJ Pro を使用する

- 各デッキで以下のモードが異なる状態のとき、自動で状態を **[DECK]** ボタンが点滅しているデッキに合わせます。
 - VINYL モードの状態
 - PAD モードの状態
 - スリップモードの状態

トラックを解析する

Serato DJ Pro の **[Analyze Files]** ボタンをクリックすると、ライブラリの中の未解析のトラックを解析することができます。また、未解析のトラックを **[Analyze Files]** ボタンへドラッグ&ドロップすることで解析することもできます。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

エフェクトを使う

Serato DJ Pro のエフェクトを本機からコントロールすることができます。

1 **[Shift]** ボタンを押しながら、**[BEAT◀]** ボタンまたは **[BEAT▶]** ボタンを押す

BPM の測定モードを選択します。

- **[AUTO]** : **[Shift]** ボタンを押しながら **[BEAT◀]** ボタンを押す。入力されている音声信号から BPM を自動測定します。
- **[TAP]** : **[Shift]** ボタンを押しながら **[BEAT▶]** ボタンを押す。BPM を手動で入力します。

2 **[BEAT FX SELECT]** ノブを回す

Serato DJ Pro 内のエフェクトの種類を切替えます。

Serato DJ Pro を使用する

3 [BEAT FX CH SELECT] ボタンを押す

エフェクトを加えるチャンネルを選択します。

— [1]～[4]：各チャンネルの音声にエフェクトを加えます。

— [SP]：サンプラーの音声にエフェクトを加えます。

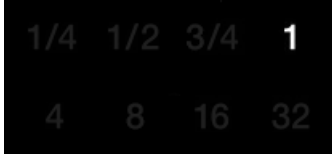
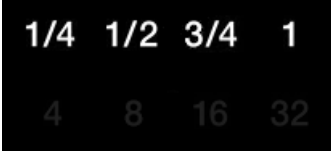
— [MST]：マスターチャンネルの音声にエフェクトを加えます。

- Serato DJ Pro の [Sample Player Output Select] を [A] に設定してください。

4 [BEAT◀] ボタンまたは [BEAT▶] を押す

エフェクト音を同期させる拍の倍率（またはパラメータ）を設定します。

- 拍の倍率が2拍の場合は、[1]と[4]の数字が点灯します。
- 拍の倍率が32拍を超える場合は、[32]の数字が点滅します。
- 拍の倍率が1/4拍未満の場合は、[1/4]の数字が点滅します。
- 拍の倍率がマイナスの場合は、マイナスを除いた倍率の数字が高速に点滅します。
- ReverbとPitchを選択しているときは、それぞれ以下のように点灯します。

	Reverb		Pitch
1%		-50%	
10%		-37%	
25%		-25%	
50%		0%	

Serato DJ Pro を使用する

75%

1/4	1/2	3/4	1
4	8	16	32

26%

1/4	1/2	3/4	1
4	8	16	32

90%

1/4	1/2	3/4	1
4	8	16	32

50%

1/4	1/2	3/4	1
4	8	16	32

100%

1/4	1/2	3/4	1
4	8	16	32

100%

1/4	1/2	3/4	1
4	8	16	32

5 [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押す

音声にエフェクトがかかります。

[BEAT FX LEVEL/DEPTH] ノブを回すと、エフェクトの量的パラメーターを調整できます。

エフェクトをオンしているとき [BEAT FX ON/OFF] ボタンが点滅します。

- [BEAT FX ON/OFF] ボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

マイクを使う

1 [MIC] 入力端子にマイクを接続する

2 [MIC LEVEL] ノブを回して、[MIC] 入力端子に入力される音声レベルを調整する

- 右に回しすぎると、大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

3 マイクに音声を入力する

- 本機に入力されたマイク音声を Serato DJ Pro で加工することはできません。

rekordbox for iOS/Android を使用する

rekordbox for iOS/Android をインストールする

rekordbox for iOS/Android を準備する

rekordbox for iOS/Androidをはじめてお使いになるお客様は、本手順に従って最新版の rekordbox for iOS/Androidをインストールしてください。

rekordbox for iOS/Androidを既にインストールされているお客様は、App Store または Google Playで最新版にアップデートしてください。

- モバイルデバイスやその他に必要なインターネット利用環境はお客様でご用意ください。
-

インストール手順について

お客様がお使いになるモバイルデバイスのオペレーティングシステム（OS）により、インストールの手順が異なります。

❖ インストール手順（iOS または iPadOS）

1 下記のQRコードまたはURLにアクセスしてApp Storeを開く



<https://apps.apple.com/app/id1487048203>

rekordbox for iOS/Android を使用する

2 [入手]をタップしてrekordbox for iOSをインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップしてrekordbox for iOS を開始してください。

❖ インストール手順（Android）

1 下記のQRコードまたはURLにアクセスしてGoogle Playを開く



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.pioneerdj.rekordbox>

2 [インストール]をタップしてrekordbox for Androidをインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップしてrekordbox for Androidを開始してください。

操作する（基本編）

rekordbox for iOS/Android を起動する

rekordbox アイコンをタップしてください。



rekordbox

“デバイス内の写真やメディアへのアクセスを「rekordbox」に許可しますか？”で
[許可する]をタップしてください。

ソフトウェア使用許諾契約の内容をよく読み、[上記のソフトウェア使用許諾契約書を読み
ました。]にチェックを入れ、[同意します]をタップしてください。

本機とモバイルデバイスを接続する

❖ USB ケーブルで接続する

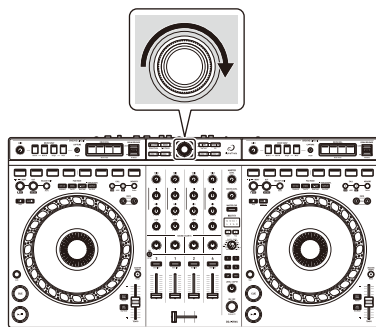
- 1 本機のUSB端子（電源専用）に電源アダプターやモバイルバッテリーを接続して電源をオンにする
- 2 USBケーブルで本機のUSB端子（デバイス接続用）とモバイルデバイスを接続する

rekordbox for iOS/Android を使用する

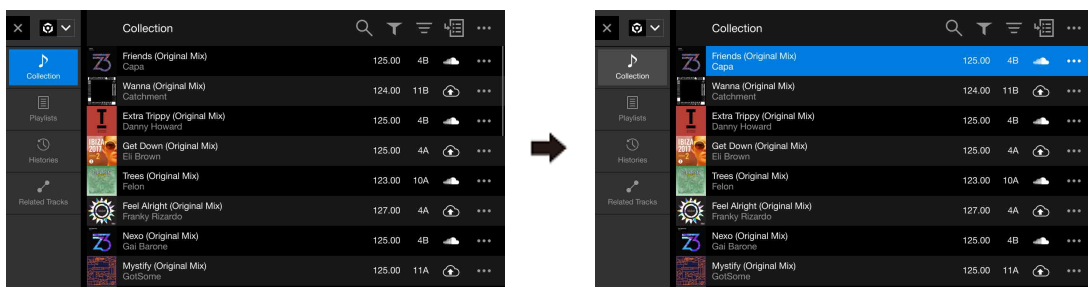
トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ1 (左側)にトラックをロードする方法を例にして説明します。

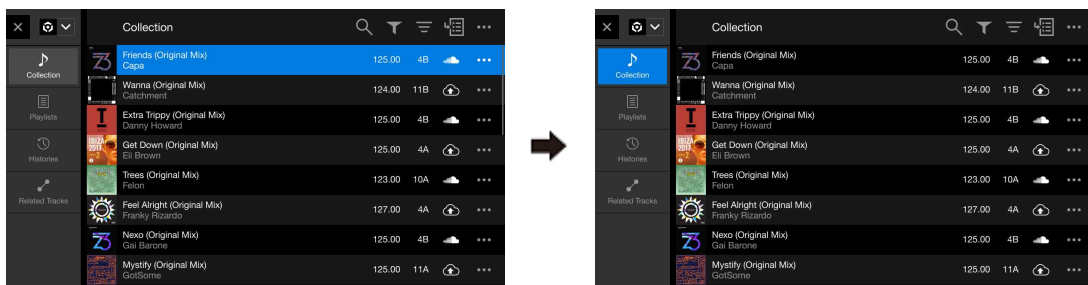
1 スマートロータリーセクターを回してトラックを選ぶ



- スマートロータリーセクターを押すことにより下の階層に移動します。



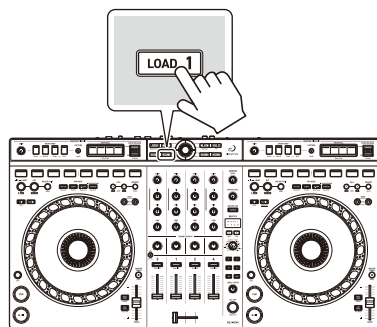
- [BACK] ボタンを押すことにより上の階層に移動します。



rekordbox for iOS/Android を使用する

2 [LOAD 1]ボタンを押す

トラックがデッキにロードされます。



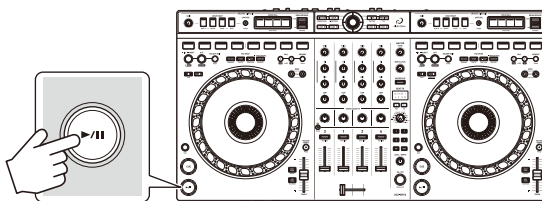
トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

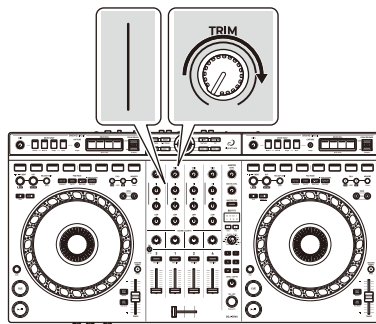
- [TRIM]ノブ：左に回しきった位置
- EQ [HI、MID、LOW]ノブ：中心位置
- [SOUND COLOR FX]ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL]ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/||]（再生／一時停止）]ボタンを押してトラックを再生する



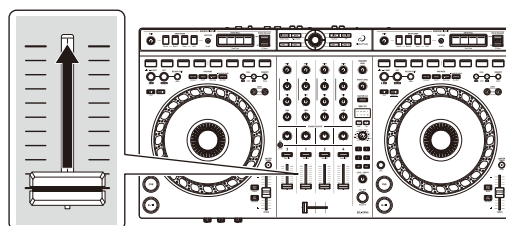
3 [TRIM]ノブを回す

チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM]ノブを調整してください。



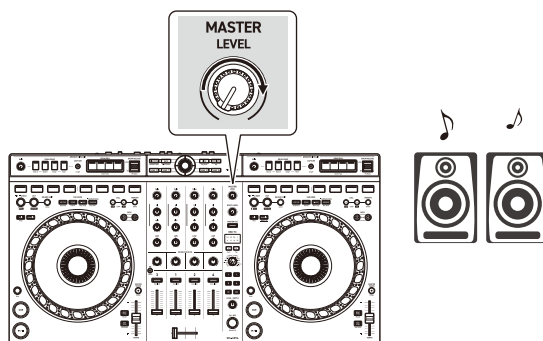
rekordbox for iOS/Android を使用する

4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



5 スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER 1]出力端子および[MASTER 2]出力端子から出力される音声レベルを[MASTER LEVEL]ノブをまわして適切な音量に調整します。



- [MASTER 1]出力端子および[MASTER 2]出力端子から音声が出力されないときや、本機をモバイルデバイスに接続しても認識しないときなどは、「故障かな?と思ったら」(157 ページ)を参照してください。

USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする

本機をモバイルデバイスとUSBケーブルで接続した場合、本機の[ (ヘッドホン)]出力端子からヘッドホンでモニターすることができます。

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 ヘッドホンを本機に接続する

2 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- [ (ヘッドホン) MIX] ノブ：中心位置
- [ (ヘッドホン) LEVEL] ノブ：左に回しきった位置

3 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

4 [(ヘッドホン) LEVEL] ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

Android 端末で正しくステレオ出力されない場合

[Android MONO/STEREO] スイッチを[STEREO]にしたとき一部の端末では本機と正しく接続されず、正常なステレオ音声が出力されない場合があります。その際は本体背面の[Android MONO/STEREO] スイッチを[MONO]にすると正しく出力できる場合があります。

本機の電源をオフにする

USB ケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

4 BEAT LOOP を使う

再生中に[IN]ボタンを押し続ける

ボタンを押した位置から4拍のループが自動で開始され、ループ再生を始めます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

❖ ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT]ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

MANUAL LOOP を使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 再生中に、ループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で [IN] ボタンを押す

ループインポイントが設定されます。

2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で [OUT] ボタンを押す

❖ ループを分割する

ループ再生中に [CALL ◀] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを半分に分割することができます。

❖ ループを延長する

ループ再生中に [CALL ▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが2倍に延長されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを2倍に延長することができます。

❖ ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

❖ ループ再生の開始位置を変更する

ループ再生中に [IN] ボタンを押し、ジョグを回す

ループインポイントの位置が移動します。

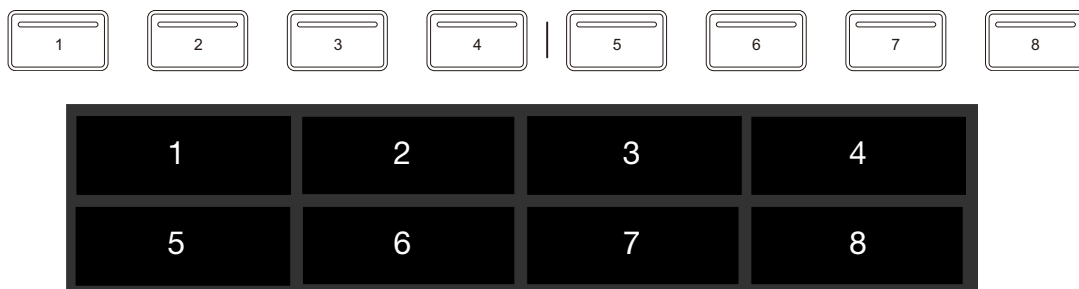
❖ ループ再生の終了位置を変更する

ループ再生中に [OUT] ボタンを押し、ジョグを回す

ループアウトポイントの位置が移動します。

PERFORMANCE PADS を使う

各パフォーマンスパッドは、以下のように割り当てられます。



❖ HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

- rekordbox for iOS/Androidでは、ホットキューポイントは1曲につき8か所まで設定および保存することができます。

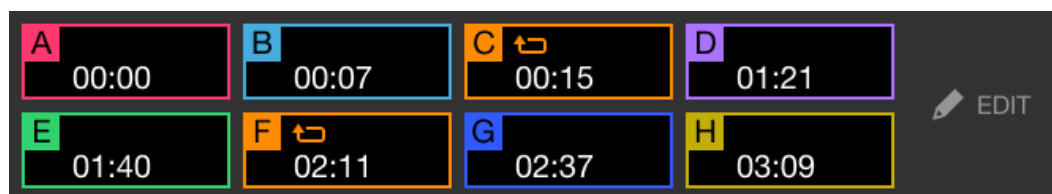
HOT CUE を設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- **[Shift]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

4 BEAT LOOP を設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

HOT CUE モードに切替わります。

2 再生中に [IN] ボタンを押し続ける

ボタンを押した位置から4拍のループが設定されて、ループ再生を始めます。

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

MANUAL LOOP を設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

HOT CUE モードに切替わります。

2 再生中に [IN] ボタンを押して、[OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

rekordbox for iOS/Android を使用する

❖ PAD FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 パッドFXモード1またはパッドFXモード2に切替える

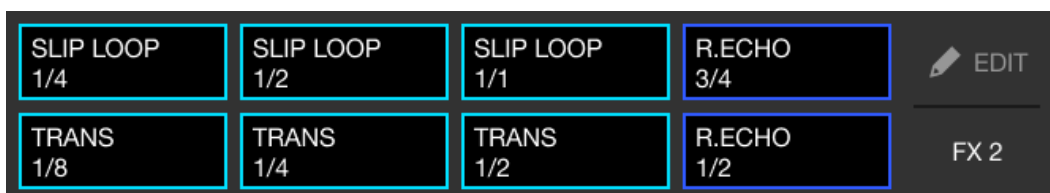
- PAD FX モード 1 : **[STEMS]** モードボタンを押します。
- PAD FX モード 2 : **[Shift]** ボタンを押しながら、**[STEMS]** モードボタンを押します。

パッドFXモード1とパッドFXモード2で、パフォーマンスパッドの各パッドのエフェクトのプリセットが切替わります。

パッドFXモード1



パッドFXモード2



2 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

3 パフォーマンスパッドから指を離す

エフェクトがオフになります。

rekordbox for iOS/Android を使用する

PAD FXのRELEASE FXを使う

あらかじめリリースFXをパフォーマンスパッドに割り当てする必要があります。

1 リリースFX以外のエフェクトが割り当てられたパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

2 リリースFXが割り当てられたパフォーマンスパッドを押してから離す

それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

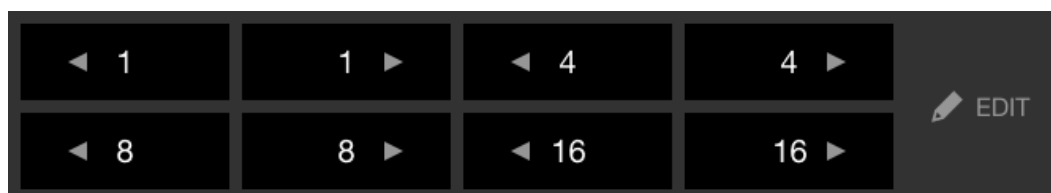
❖ BEAT JUMPを使う

再生中のトラックのリズムを崩さずに瞬時に再生位置を移動できます。

1 [B.JUMP]モードボタンを押す

BEAT JUMPモードに切替わります。

ジャンプする方向と拍数のプリセットがパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(初期状態)



2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた方向と拍数でビートジャンプします。

rekordbox for iOS/Android を使用する

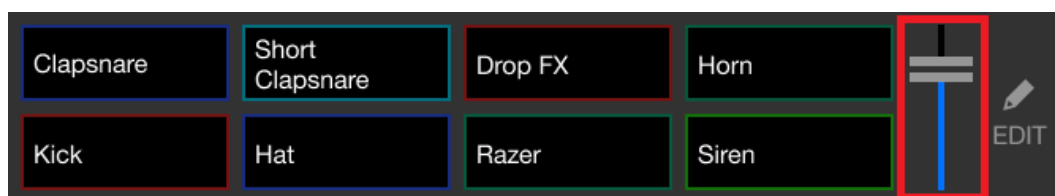
❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラスロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 [SAMPLER] モード ボタンを押す

SAMPLER モードに切替わります。

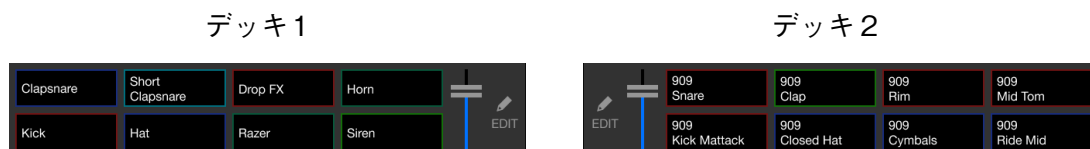
2 サンプラーの音量を調整する



3 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- デッキ1とデッキ2で割り当てられるサンプラーのプリセットは異なります。(初期状態)



4 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

5 サンプラー再生中に[Shift] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

rekordbox for iOS/Android を使用する

❖ KEYBOARD モードを使う

パフォーマンスパッドを使って、キーボード（鍵盤）のようにホットキューに音階をつけることができます。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

KEYBOARD モードに切替わります。

2 パフォーマンスパッドを押す

KEYBOARD モードで使用するホットキューを選択します。

- ホットキューが設定されていない場合は、現在の再生位置がホットキューとして設定され、設定したホットキューを選択後にKEYBOARD モードで使用されます。
- KEYBOARD モードで使用するホットキューを選びなおすときは、[Shift] ボタンを押しながら [HOT CUE] モードボタンを押します。

KEYBOARD モードで使用するホットキューが選択されると、音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）



各パッドに表示されている数値はセミトーン数を表しています。

例) +4: +4 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

3 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さでホットキューが再生されます。

- [Shift] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

rekordbox for iOS/Android を使用する

❖ BEAT LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を離してもループ再生を継続します。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[B.JUMP] モードボタンを押す

BEAT LOOP モードに切替わります。

BEAT LOOP モードの拍数設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(初期状態)

1/4	1/2	1	2	 EDIT
4	8	16	32	

各パッドに表示されている数値はループ再生する拍数を表しています。

2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

3 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

rekordbox for iOS/Android を使用する

❖ KEY SHIFT を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パッドに割り当てられた音の高さで再生中のトラックのキー（調）が変わります。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタンを押す

KEY SHIFT モードに切替わります。

音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）



各パッドに表示されている数値はセミトーン数を表しています。

例) +4: +4 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さで、再生中のトラックのキー（調）が変わります。

キューポイントを設定する・呼び出す

❖ キューポイントを設定する

ロード中のトラックにキューポイントまたはループポイントを設定することができます。

1 キューポイントを設定したい位置に再生位置を移動する

2 一時停止状態で [CUE] ボタンを押す

3 [MEMORY] ボタンを押す

手順2で設定されたキューポイントが保存されます。

- ループを組んだ状態で [MEMORY] ボタンを押すと、ループポイントが保存されます。

❖ キューポイントを呼び出す

設定したキューポイントまたはループポイントを呼び出すことができます。

[CALL ◀] ボタンまたは [CALL ▶] ボタンを押す

キューポイントまたはループポイントが呼び出されます。

❖ キューポイントを削除する

設定されたキューポイントまたはループポイントを削除することができます。

1 [CALL ◀] ボタンまたは [CALL ▶] ボタンを押す

削除したいキューポイントまたはループポイントを呼び出します。

2 [Shift] ボタンを押しながら [MEMORY] ボタンを押す

呼び出されたキューポイントまたはループポイントを消去できます。

SLIP を使う

スリップをオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキューの再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

- **[SLIP]** ボタンは、スリップモードにしたときに点灯し、バックグラウンドで再生が続いている間は点滅します。

❖ SLIP SCRATCH PLAY

1 VINYL モードがオンになっていることを確認する

[Shift] ボタンを押している間、**[SLIP]** ボタンが点灯することを確認します。

- 初期設定では、VINYL モードはオンに設定されています。

2 **[SLIP]** ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

3 再生中にジョグの天面を操作してスクラッチプレイする

スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 ジョグの天面から手を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 **[SLIP]** ボタンを押します。

❖ SLIP HOT CUE

1 **[HOT CUE]** モードボタンを押す

HOT CUE モードにします。

2 ホットキューを設定する

パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定します。

3 [SLIP]ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける

ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。

ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP]ボタンを押します。

❖ SLIP BRAKING

1 モバイルデバイスを横画面にしてrekordbox for iOS/Androidの[設定] > [一般]の中にある[停止時間]の設定を調整する

[停止時間]の設定はトラックの再生状態から停止するまでの速度などを調整します。

スリップブレーキングを使うときは、[停止時間]を調整して、ゆっくりと停止する設定にしておきます。

2 [SLIP]ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

3 再生中に[▶/⏸ (再生／一時停止)]ボタンを押す

ゆっくりと再生が止まります。ゆっくりと停止している間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[▶/⏸ (再生／一時停止)]ボタンを押す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度[SLIP]ボタンを押します。

❖ SLIP AUTO BEAT LOOP

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

2 [IN] ボタンを押し続ける

4 拍のループが設定されて、ループ再生が始まります。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

❖ SLIP MANUAL LOOP

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切替えます。

2 [IN] ボタンを押してから [OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [Shift]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[Shift]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [Shift]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[Shift]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

トラックを解析する

[設定]>[一般]>[楽曲解析]>[自動解析]をオンにしているとき、トラックの解析が行われます。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPMや波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

BEAT FX を使う

BEAT FXはデッキにロードしたトラックのテンポ（BPM）にあわせてエフェクトをかけることができます。

1 [Shift] ボタンを押しながら、[BEAT◀] ボタンまたは[BEAT▶] ボタンを押す

BPMの測定モードを選択します。

- **[AUTO] : [Shift] ボタンを押しながら [BEAT◀] ボタンを押す。**入力されている音声信号からBPMを自動測定します。
- **[TAP] : [Shift] ボタンを押しながら [BEAT▶] ボタンを押す。**BPMを手動で入力します。

2 [BEAT FX SELECT] ノブを回す

エフェクトの種類を選択します。

3 [BEAT FX CH SELECT] ボタンを押す

エフェクトを加えるチャンネルを選択します。

- **[1] :** チャンネル1の音声にエフェクトを加えます。
- **[2] :** チャンネル2の音声にエフェクトを加えます。
- **[MST] :** チャンネル1およびチャンネル2の音声にエフェクトを加えます
- **[3]、[4]、[SP] :** 使用しません。

4 [BEAT◀]ボタンまたは[BEAT▶]を押す

エフェクト音を同期させる拍数を設定します。

拍数に対応したエフェクトタイムが自動で設定されます。

5 [BEAT FX ON/OFF]ボタンを押す

音声にエフェクトがかかります。

[BEAT FX LEVEL/DEPTH]ノブを回すと、エフェクトの量的パラメーターを調整できます。

エフェクトをオンしているとき[BEAT FX ON/OFF]ボタンが点滅します。

- [BEAT FX ON/OFF]ボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

マイクを使う

1 [MIC]入力端子にマイクを接続する

2 [MIC LEVEL]ノブを回して、[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整する

- 右に回しすぎると、大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

3 マイクに音声を入力する

- 本機に入力されたマイク音声を rekordbox for iOS/Android で加工することはできません。

rekordbox for iOS/Android で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox for iOS/Android 上で変更することができます。

[設定]>[DDJ-GRV6]内にある設定項目で変更します。

rekordbox for iOS/Android と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

[バックスピンレングス]の設定

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

- **[ショート]**：バックスピンレングス ショート
- **[ノーマル]**：バックスピンレングス ノーマル
- **[ロング]**：バックスピンレングス ロング

[Slip モードフラッシング]の設定

スリップモードフラッシングの設定を変更します。

- **[有効]**：スリップモードをオンにしたときにスリップ動作に関連するボタンが点滅します。
- **[無効]**：スリップモードをオンにしたときにスリップ動作に関連するボタンは点滅しません。

[Slip ボタン点灯動作]の設定

スリップモードがオンのときの**[SLIP]**ボタンの点灯動作を設定します。

- **[点灯]**：スリップモードがオンのとき、**[SLIP]**ボタンが点灯し、スリップ動作時に点滅します。
- **[点滅]**：スリップモードがオンのとき、**[SLIP]**ボタンは常に点滅します。

[フェーダースタート]の設定

フェーダースタート機能の設定を変更します。

[クロスフェーダー]の**[Cut Lag]**の設定

クロスフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整することができます。

0.3 mm から5.5 mm まで0.1 mm 単位で調整することができます。

- 初期設定では、1.0 mm に設定されています。
- カットラグの数値は目安であり、この数値通りではない場合があります。

rekordbox for iOS/Android を使用する

【ブースモニターへのマイク出力】の設定

ブース出力へのマイク音声のON/OFF設定を切替えます。

- ON：ブース出力にマイク音声が入ります。
- OFF：ブース出力にマイク音声が入りません。

【ヘッドホン出力】の設定

【 (ヘッドホン)】出力端子の出力音声を切替えます。

- **[STEREO]**：モニター音声をステレオで出力します。
- **[MONO SPLIT]**：左チャンネルからマスター音声以外のモニター音声を、右チャンネルからマスター音声のモニター音声を出力します。

【デモモード】の設定

デモモード開始までの時間の設定を行います。

初期設定ではデモモードは**[10分]**に設定されています。

デモモード中、本機のいずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードが解除されます。

- **[1分]**：1分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **[5分]**：5分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **[10分]**：10分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **[無効]**：デモモードは開始されません。

【パワーマネジメント】の設定

パワーマネジメント機能を**[有効]**に設定しているときに、各チャンネルに音声信号が入力されていない状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。

オフモードになると、右側デッキの**[QUANTIZE]**ボタンが点灯します。

点灯している**[QUANTIZE]**ボタンを押すと、オフモードを解除できます。

- パワーマネジメント機能の初期値は**[有効]**となります。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは、**[無効]**に設定してください。
- パワーマネジメント機能を**[無効]**に設定した場合、消費電力が増加する場合があります。

本機の設定を変更する

ユーティリティーモードを起動する

DJ アプリケーションを閉じてからユーティリティーモードを起動させてください。

rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android を接続して使用する場合は、rekordbox for Mac/Windows および rekordbox for iOS/Android の設定画面で変更してください。

- ➡ 「rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する」 (96 ページ)
- ➡ 「rekordbox for iOS/Android で設定を変更する」 (151 ページ)

1 USBケーブルを抜く

2 左側デッキの[Shift]ボタンと[▶/|| (再生／一時停止)]ボタンの両方を押しながら、USBケーブルを接続する

ユーティリティーモードが起動します。

3 設定を変更したい項目について本機を操作する

設定を変更すると変更内容が保存されます。設定を保存中は[BEAT FX ON/OFF]ボタンが点滅するので、消灯するまでお待ち下さい。点滅中にUSBケーブルが抜かれると変更内容が保存されない場合があります。

4 USBケーブルを抜いて、本機の電源をオフにする

ユーティリティーモードを終了します。

ユーティリティーモード

ユーティリティーモードでは以下の設定を変更できます。

- バックスピンレングス
- スリップモードフラッシング
- スリップモードがオン時の[SLIP]ボタン点灯
- フェーダースタート
- クロスフェーダーカットラグ
- ブース出力へのマイク出力
- ヘッドホン出力
- REC OUT出力へのマイク出力
- デモモード
- パワーマネジメント

❖ バックスピンレングスの設定を変更する

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

左側デッキのパフォーマンスパッド1～3のいずれかを押す

- パッド1点灯：ショートが設定されます。
- パッド2点灯：ノーマルが設定されます。(初期設定)
- パッド3点灯：ロングが設定されます。

❖ スリップモードフラッシングの設定を変更する

スリップモードがオンのときに関連する操作子のLEDを点滅する機能（スリップモードフラッシング）の有効／無効を選択します。

左側デッキの[SLIP]ボタンを押す。

- [SLIP]ボタンが点灯：スリップモードフラッシング機能が有効になります。
- [SLIP]ボタンが消灯：スリップモードフラッシング機能が無効になります。

❖ スリップモードがオン時の[SLIP]ボタン点灯の設定を変更する

スリップモードがオンのときの[SLIP]ボタンの点灯について設定します。

右側デッキの[SLIP]ボタンを押す。

- [SLIP]ボタンが点灯：スリップモードがオンで点灯し、スリップ動作中点滅します。
- [SLIP]ボタンが消灯：スリップモードオン時は常に点滅します。

❖ フェーダースタートの設定を変更する

フェーダースタート機能の設定を変更できます。

左側デッキの[HOT CUE]モードボタン、[STEMS]モードボタン、[B.JUMP]モードボタンのいずれかを押す

- [HOT CUE]モードボタン点灯：SYNC設定ありのフェーダースタート機能が有効になります。（フェーダースタート開始と同時にSYNC機能が働きます。）
- [STEMS]モードボタン点灯：SYNC設定なしのフェーダースタート機能が有効になります。（フェーダースタート開始時にSYNC機能は働きません。）
- [B.JUMP]モードボタン点灯：フェーダースタート機能は無効になります。

❖ クロスフェーダーカットラグの設定を変更する

クロスフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整します。

1（0.3 mm）から53（5.5 mm）まで0.1 mm単位で調整できます。

- カットラグ設定に対する上記カットラグの位置は目安であり、実際に音量がゼロになる位置と一致しない場合があります。
- 初期設定では8（1 mm）に設定されています。

スマートロータリーセレクターを回す

チャンネルレベルインジケータの点灯状態で現在の設定値（1から53）を表示します。

- チャンネル1のチャンネルレベルインジケータの点灯個数：10の位
 - チャンネル2、チャンネル4のチャンネルレベルインジケータの点灯個数の和：1の位
- 例：チャンネル1のチャンネルレベルインジケータの点灯個数が2個、チャンネル2のチャンネルレベルインジケータの点灯個数が3個、チャンネル4のチャンネルインジケータの点灯個数が5個、の場合、設定値は、28（20+3+5=28）になります。

❖ ブース出力へのマイク出力設定を変更する

左側デッキのパッド6を押す。

- パッド6点灯：[BOOTH]出力端子からマイク音声出力されます。（初期設定）
- パッド6消灯：[BOOTH]出力端子からマイク音声出力されません。

❖ ヘッドホン出力設定を変更する

ヘッドホンから出力されるモニター音声の振り分け方法を設定します。

左側デッキのパッド7を押す。

- パッド7点灯：ヘッドホンCUEボタンで選択されたチャンネルの音声が入力端子からステレオ音声で出力されます。
- パッド7消灯：左チャンネルからマスターチャンネル以外のヘッドホンCUEボタンで選択されたチャンネルの音声が入力され、右チャンネルからマスター音声が入力されます。

❖ REC OUT 出力へのマイク出力設定を変更する

左側デッキのパッド8を押す。

- パッド8点灯：REC OUTにマイク音声が入力されます。（初期設定）
- パッド8消灯：REC OUTにマイク音声が入力されません。

❖ デモモードの設定を変更する

本機は通常の使用状態で設定された時間内に本機の操作がない場合、デモモードを開始します。

- デモモード開始後、いずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードを解除することができます。

右側デッキのパフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

- パッド1点灯：デモモード無効
- パッド2点灯：1分間操作が無いときにデモモードを開始
- パッド3点灯：5分間操作が無いときにデモモードを開始
- パッド4点灯：10分間操作が無いときにデモモードを開始（初期設定）

❖ パワーマネジメントの設定を変更する

パワーマネジメントの設定を有効にしているときに、各チャンネルに音声信号が入力されていない状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。オフモードになると、右側デッキの[QUANTIZE]ボタンが点灯します。

点灯している[QUANTIZE]ボタンを押すと、オフモードを解除できます。

- 初期設定ではパワーマネジメント機能を有効に設定しています。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは、設定をオフにしてください。
- パワーマネジメント機能をオフに設定した場合、消費電力が増加する場合があります。

右側デッキの[QUANTIZE]ボタンを押す。

- [QUANTIZE]ボタン点灯：パワーマネジメント機能が有効になります。
- [QUANTIZE]ボタン消灯：パワーマネジメント機能が無効になります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目およびAlphaThetaサポートページへアクセスして、**[DDJ-GRV6]**の**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れなおすことで正常に動作することがあります。

電源

❖ 本機の電源が入らない

- USB電源アダプター（モバイルバッテリー）およびUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」（58 ページ）を参照してください。
- USB電源アダプター（モバイルバッテリー）またはUSBケーブルを別のものに交換して確認してください。

❖ 電源が勝手に切れる

- モバイルバッテリーを使用する場合は、省電力機能のないものをお使いください。また、最大電圧24V 以下、かつDC 9V 3Aに対応したものを使用してください。
接続に必要なケーブルは、USB認証品を使用してください。
- パワーマネジメントの設定が**[有効]**のとき、音声入力が無い状態で本機を操作せずに20分経過すると、本機は自動的にオフモードとなります。詳細は「パワーマネジメント機能」（97 ページ）（152 ページ）（156 ページ）を参照してください。

❖ 両デッキの[IN]ボタンと[OUT]ボタンが点滅して動作しない

- USB端子（電源専用）に接続したUSB電源アダプター、モバイルバッテリーの供給能力が不足している可能性があります。DC 9V 3Aに対応した機器を使用してください。

❖ チャンネル1、2、3、4のレベルインジケーターの赤色インジケーターが点滅して動作しない

- USB端子（デバイス接続用）に接続したPC/Macの電源供給能力が不足している可能性があります。
- PC/MacのUSB Type-C端子と接続している場合は、お使いのPC/Macに電源アダプターが接続されているか確認してください。また、お使いのPC/Macに他のUSB機器が接続されていると本機への電源供給能力が不足することがあります。
- PC/MacのUSB Type-A端子と接続している場合は、本機のUSB端子（電源専用）に最大電圧24V以下、かつDC 9V 3Aに対応したUSB電源アダプターまたはモバイルバッテリーが接続されているか確認してください。「接続する」（58 ページ）を参照してください。

接続

❖ 本機がPC/Macで認識されない

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」（58 ページ）を参照してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- スクリーンセーバーや常駐ソフトも含め、すべてのアプリケーションを終了してください。（ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Macの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。）
- 外付けハードディスクや、一部機種ではキーボード等を取り外してください。内蔵ハードディスクだけの状態にして、確認してください。
- お使いのPC/MacにUSB端子が複数ある場合は、他のUSB端子で確認してください。
- Macをお使いの場合、macOSのユーティリティソフトウェア**[Audio MIDI設定]**を起動し、メニューバーの**[ウインドウ]>[オーディオ装置を表示]**で**[DDJ-GRV6 Audio Out]**が表示されるか確認してください。
- Macをお使いの場合、サウンド設定が正しく設定されていない可能性があります。本機と接続しているUSBケーブルを外してから、macOSのユーティリティソフトウェア**[Audio MIDI設定]**を起動し、**[MIDI ウインドウ]**または**[MIDI スタジオ]**を表示させます。**[DDJ-GRV6]**アイコンを選択してから**[装置を削除]**をクリックします。（アイコンは**[DDJ-GRV6]**ではなく、**[USB MIDI 装置]**になっている場合があります。その場合は**[USB MIDI 装置]**を選択します。）再度、本機とUSBケーブルで接続すると**[DDJ-GRV6]**アイコンが表示されます。
- Windowsをお使いの場合、**[デバイスマネージャー]>[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー]**下に**[DDJ-GRV6]**が表示されるか確認してください。

❖ USB 接続時に本機がモバイルデバイスで認識されない

- USB 電源アダプタ（モバイルバッテリー）およびUSB ケーブルを正しく接続してください。「接続する」（58 ページ）を参照してください。
- USB 電源アダプタ（モバイルバッテリー）またはUSB ケーブルを別のものに交換して確認してください。

音

❖ 音が出ない/音が小さい/音がひずむ

- **[TRIM]** ノブ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび**[MASTER LEVEL]** ノブを正しい位置に設定してください。「トラックを再生する」（69 ページ）（105 ページ）（131 ページ）を参照してください。
- 接続ケーブルを正しく接続してください。「接続する」（58 ページ）を参照してください。
- 端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
- 音声のとぎれる時は、DJ ソフトウェアのバッファサイズの値を適切に設定してください。

❖ マイクの音声が出ない

- **[MIC ATT.]** ノブ、**[MIC LEVEL]** ノブを正しい位置に設定してください。「各部の名称とはたらき」（56 ページ）（57 ページ）を参照してください。

rekordbox for Mac/Windows

❖ rekordbox の動作が不安定になる

- rekordbox のバージョンを最新にしてください。「rekordbox for Mac/Windows をインストールする」（62 ページ）を参照してください。
- rekordbox 以外のソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルスセキュリティソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。（ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Mac の安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。）
- PC/Mac に本機以外のUSB 機器が接続されている場合は、外してください。
- USB ハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、AC アダプターから電源供給してください。

❖ BPMやビートグリッドが正しく表示されていない/ビートグリッドがずれている

- BPM解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPMを設定してください。
- ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法の詳細については、rekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

❖ rekordboxを使っているとき再生中の音声かとぎれる

- rekordboxの[環境設定]>[オーディオ]のバッファサイズの値を適切に設定してください。

❖ フェーダースタート機能が動作しない

- キューを設定してください。
- フェーダースタートの設定を有効にするためには、rekordboxの[環境設定]>[コントローラー]の[ミキサー]を選択して[フェーダースタート]のチェックボックスにチェックを入れてください。

Serato DJ Pro

❖ Serato DJ Proの動作が不安定になる

- Serato DJ Proのバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Proをインストールする」(98 ページ)を参照してください。
- Serato DJ Pro以外のソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルスセキュリティソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Macの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
- PC/Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターから電源供給してください。

❖ ライブラリにトラックが表示されない

- ライブラリにトラックがない場合は、音楽ファイルをインポートしてください。インポート方法の詳細については、「トラックをインポートする」（103 ページ）を参照してください。
- トラックが入っていないcrate またはsubcrate を選んでいる場合は、トラックが入っているcrate またはsubcrate を選ぶか、crate またはsubcrate にトラックを追加してください。

❖ ライブラリに iTunes の曲が表示されない

-  メニューの[Library + Display]タブの中の[Show iTunes Library]にチェックが入っていない場合は、チェックを入れてください。すでにチェックが入っている場合は一旦チェックを外してから再度チェックを入れてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください。
- トラックが入っていないcrate またはsubcrate を選んでいる場合は、トラックが入っているcrate またはsubcrate を選ぶか、crate またはsubcrate にトラックを追加してください。

❖ ライブラリの音楽ファイルを編集できない（曲名の修正など）

-  メニューの[Library + Display]タブの中の[Protect Library]が有効になっている場合は、無効にしてください。

❖ Serato DJ Pro のバーチャルデッキが表示されない（オフラインプレーヤーが表示される）

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」（58 ページ）を参照してください。
- Serato DJ Proのバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Proをインストールする」（98 ページ）を参照してください。

❖ BPM が表示されない / SYNC 機能、オートループ機能が動作しない

- オフラインプレーヤーの設定で[Analysis Settings]の[Set Beat Grid / BPM]にチェックを入れてから、トラックを解析してください。トラックの解析方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください。

❖ BPM やビートグリッドが正しく表示されていない / ビートグリッドがずれている

- BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は、手動でビートグリッドやBPMを設定してください。
- ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください。

❖ Serato DJ Proを使っているとき再生中の音声がとぎれる

- Serato DJ Proのバッファサイズ（レイテンシー）の値を適切に設定してください。

❖ BPM は表示されるがビートグリッドが表示されない / スキップモードが動作しない

- オフラインプレーヤーの設定で**[Analysis Settings]**の**[Set Beat Grid / BPM]**にチェックを入れてから、トラックを解析してください。トラックの解析方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください。
- ビートグリッドを設定してください。ビートグリッドの設定方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください。

rekordbox for iOS/Android

❖ Android端末接続時、ステレオ出力が正常に行われず、MASTER出力音声は乱れヘッドホン音声が無音になる

- **[Android MONO/STEREO]**スイッチを**[STEREO]**にしたとき一部の端末では本機と正しく接続されず、正常なステレオ音声が出力されない場合があります。その際は本体背面の**[Android MONO/STEREO]**スイッチを**[MONO]**にすると正しく出力できる場合があります。

❖ 本機と接続中にモバイルデバイスから音声が出力されない

- 本機と接続中は、モバイルデバイスから音声は出力されません。
本機の**[MASTER]**出力端子にパワードスピーカー、パワーアンプなどの機器を接続してください。

❖ **Android 端末接続時、[Android MONO/STEREO] スイッチを [MONO] にしても正常に音声が出力されない。またはノイズが聞こえる。**

- Android 端末の機種によっては接続が正常にできないまたは音声に問題が発生する場合があります。
下記サポートまでお問い合わせください。
alphatheta.com/support/Japan/

❖ **rekordbox の動作が不安定になる**

- rekordbox のバージョンを最新にしてください。「rekordbox for iOS/Android をインストールする」(126 ページ) を参照してください。
- rekordbox 以外のアプリを使用している場合は、そのアプリを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルスセキュリティソフト、省電力モードなどを無効にしてみてください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、モバイルデバイスの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)

❖ **BPM やビートグリッドが正しく表示されていない/ビートグリッドがずれている**

- BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPM を設定してください。

❖ **フェーダースタート機能が動作しない**

- キューを設定してください。
- フェーダースタートの設定を有効にするためには、rekordbox の[設定]>[DDJ-GRV6]>[フェーダースタート]をオンにしてください。

その他

❖ **インジケーターが点滅し、動作がおかしい**

- 動作がおかしい、または起動しない場合は、本機からUSB 端子 (電源供給用)、USB 端子 (デバイス接続用) のケーブルを抜いて、しばらく経ってから接続し直してください。それでも症状が発生する場合は、修理を依頼してください。

仕様

本体一般

定格電源

USB 電源アダプター使用時 DC 9 V、3.0 A

USB バスパワー使用時 DC 5 V、1.5 A

本体質量 4.6 kg

最大外形寸法 (W × D × H) 711.4 × 375.9 × 75.7 mm

許容動作温度 + 5 °C ~ + 35 °C

許容動作湿度 5 % ~ 85 % (結露のないこと)

オーディオ部

サンプリングレート 48 kHz

A/D、D/A コンバーター 24 bit

周波数特性

USB、MIC 20 Hz ~ 20 kHz

S/N 比 (定格出力時、A-WEIGHTED)

USB 104 dB

全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHzBW)

USB 0.003 %

入力インピーダンス

MIC 3 kΩ

出力インピーダンス

MASTER 1 560 Ω 以下

MASTER 2 1 kΩ 以下

BOOTH 1 kΩ 以下

ヘッドホン 10 Ω 以下

定格出力レベル/ 負荷インピーダンス

MASTER 1 3.30 Vrms/10 kΩ

MASTER 2 2.10 Vrms/10 kΩ

BOOTH 2.10 Vrms/10 kΩ

入力 / 出力端子

MIC入力端子

1/4" TRS ジャック 1 系統

MASTER 1 出力端子

1/4" TRS ジャック 1 系統

MASTER 2 出力端子

RCA ピンジャック 1 系統

BOOTH 出力端子

RCA ピンジャック 1 系統

ヘッドホン出力端子

1/4" ステレオジャック 1 系統

3.5 mm ステレオミニジャック 1 系統

USB端子

USB Type-C 端子 2 系統

- **[MASTER 1]**出力端子は必ずバランス出力としてお使いください。TRS-RCA変換ケーブル（変換アダプター）などを使って、アンバランス入力（RCA 等）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生する場合があります。アンバランス入力（RCA 等）への接続には**[MASTER 2]**出力端子をお使いください。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

他のDJソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやノブなどの操作情報を汎用のMIDI形式でも出力します。MIDI対応のDJソフトウェアをインストールしたPC/MacとUSBケーブルを使って接続すると、本機でDJソフトウェアを操作できます。(DJアプリケーションのMIDIに関する設定を行う必要があります。)

- 詳しくは、お使いのDJソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDIメッセージについて

本機のMIDIメッセージについては、「MIDIメッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDIメッセージ一覧」は下記のURLより入手できます。

alphatheta.com/support/Japan/

商標および登録商標について

- rekordbox™は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
- Apple、Apple ロゴ、Apple Music、Finder、iPad、iPadOS、iTunes、Mac、MacBook、MacBook Pro、macOS および OS X は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iOS は、米国その他の国における Cisco の商標または登録商標です。
- Google Play、Google Play ロゴおよび Android は Google LLC の商標です。
- Serato DJ Lite、Serato DJ Intro、Serato DJ Pro、Serato DJ、および Scratch Live は、Serato Limited 社の登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利目的での（収益が発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またはその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためには、ライセンスされていません。このような使用には、個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

ソフトウェアのライセンス

Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

BSD

The BSD-3-Clause License

Copyright (c) 2015, Freescale Semiconductor, Inc.

Copyright 2016-2020 NXP

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,

INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。
また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2024 AlphaTheta株式会社

禁無断転載

<DRJ1101-A>